

東日本大震災とFOSS4G

(Free and Open Source Software for Geospatial)

OSGeo (Open Source Geospatial) 財団

吉田 大介

自己紹介

名前：吉田 大介

職場：帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部

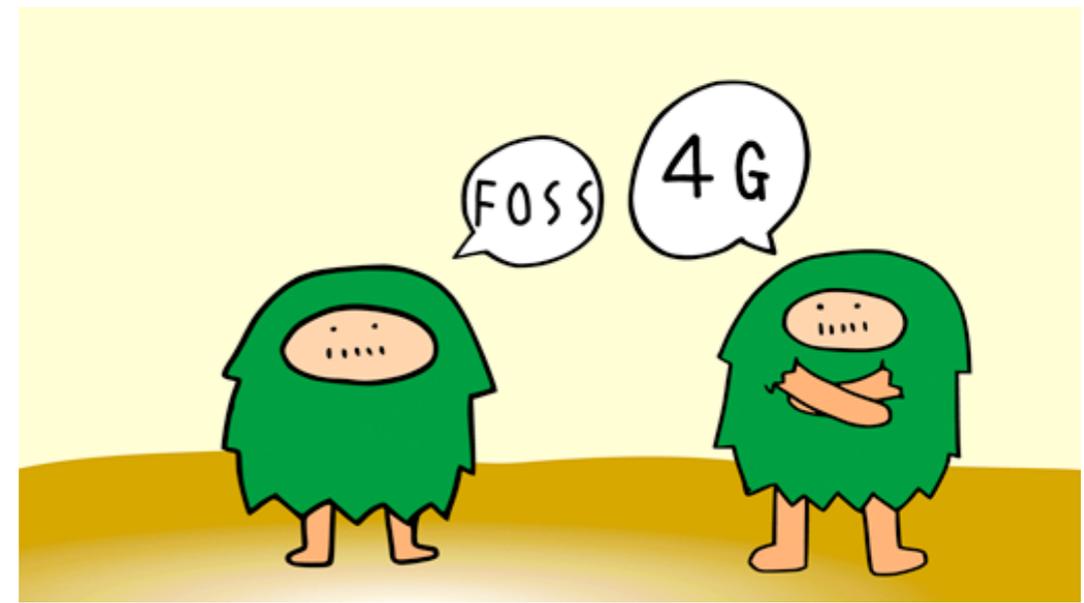
コミュニティ：OSGeo, OpenStreetMap

経歴：国際協力機構（JICA）青年海外協力隊

JICA中部 GIS研修事業 事業協力・講師

Twitter: nro2dai





FOSS4Gって????

Free and **O**pen **S**ource **S**oftware

for Geospatial の略

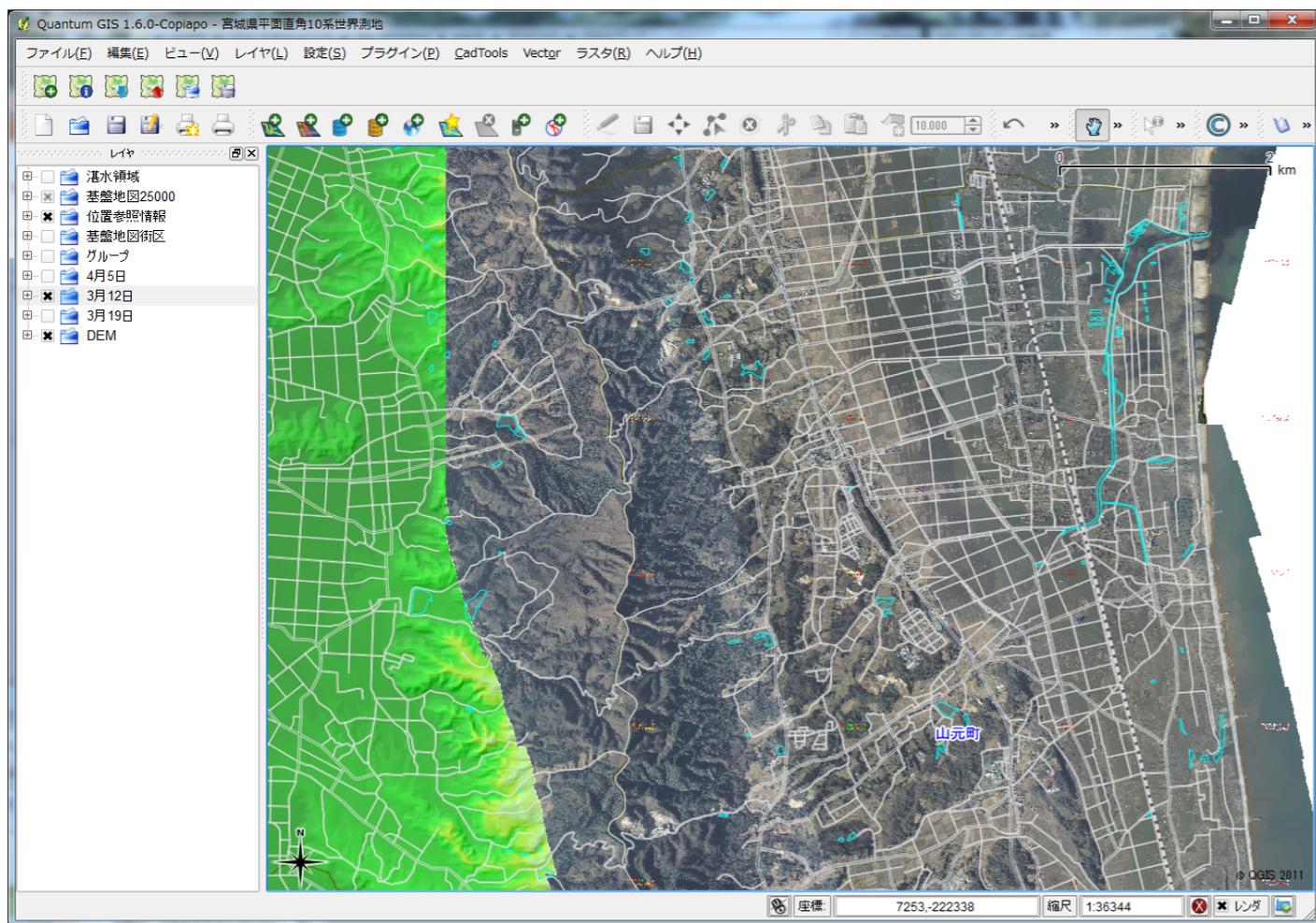
地理空間情報に関する

オープンソースソフトウェアのことです。

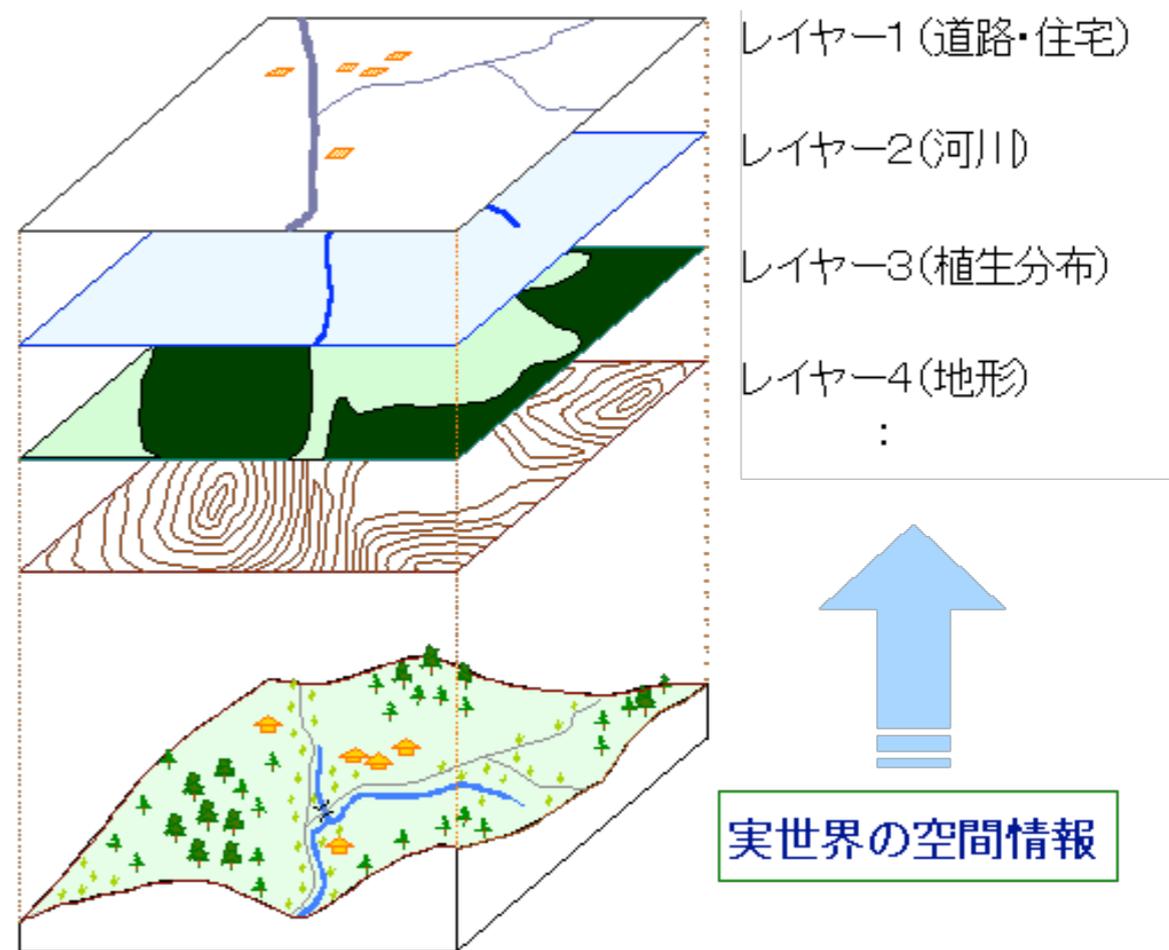
空間情報・地理情報って？

コンピュータ上で扱う空間と関連した情報

(実体は画像 or 座標列と関連情報)



デスクトップGISで表示されたデータ



画像 大阪市立大学 インターネット講座

空間情報系オープンソース

FOSS4G (Free and Open Source Software for Geospatial)

たくさんあります。おおまかな分類

- Webマッピング
- デスクトップGIS (地理情報システム)
- 空間情報用ライブラリ
- メタデータカタログ

OSGeo Projects

Web Mapping

deegree
geomajas ◆
GeoServer ◆
Mapbender
MapBuilder
MapFish ◆
MapGuide Open Source
MapServer
OpenLayers

Desktop Applications

GRASS GIS
OSSIM
Quantum GIS
gvSIG ◆

Geospatial Libraries

FDO
GDAL/OGR
GEOS ◆
GeoTools
MetaCRS ◆
PostGIS ◆

Metadata Catalog

GeoNetwork

Other Projects

Public Geospatial Data
Education and Curriculum

◆ Project in incubation

Webマッピング

インターネット地図配信サービス

OpenStreetMap - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(I) ヘルプ(H)

http://www.openstreetmap.org/

Slashgeo | Friday G... TC 位置情報サービスのG... そろそろ大規模ソフ... GeoMola.jp | 衛星... うおっ、まぶし:rege... EnterpriseDB: Dow... グーグルが企業向け...

OpenStreetMap

閲覧 編集 履歴 エクスポート GPSトレース ユーザの日記 ログイン | 登録

OpenStreetMap

自由なウィキ世界地図

OpenStreetMap は自由に編集できる世界地図です。あなたのような人々が作りました。

OpenStreetMap は地球上の誰でも、どこからでもこの共同作業の結果である地図データを編集、閲覧することを可能にしています。

OpenStreetMap はユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) VR センター と bytemark によってホスティングされています。

ヘルプと Wiki
ニュースブログ
ショップ
凡例

検索 いまどこ?
行<

例: 名古屋城、名古屋市、New York、空居 など 他の例...

寄付

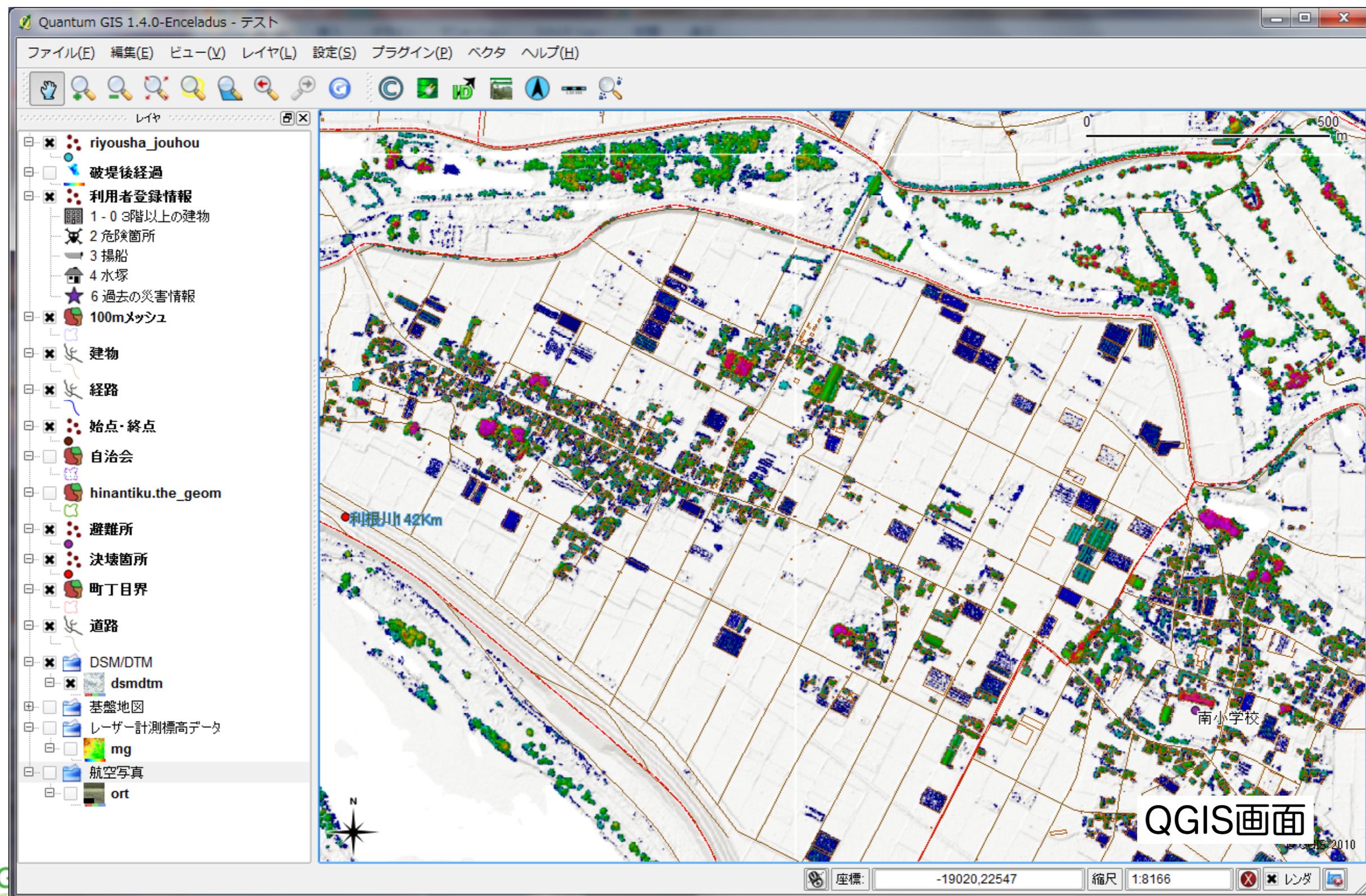
CC BY SA

OpenStreetMap サイト

完了 43 SHIDA

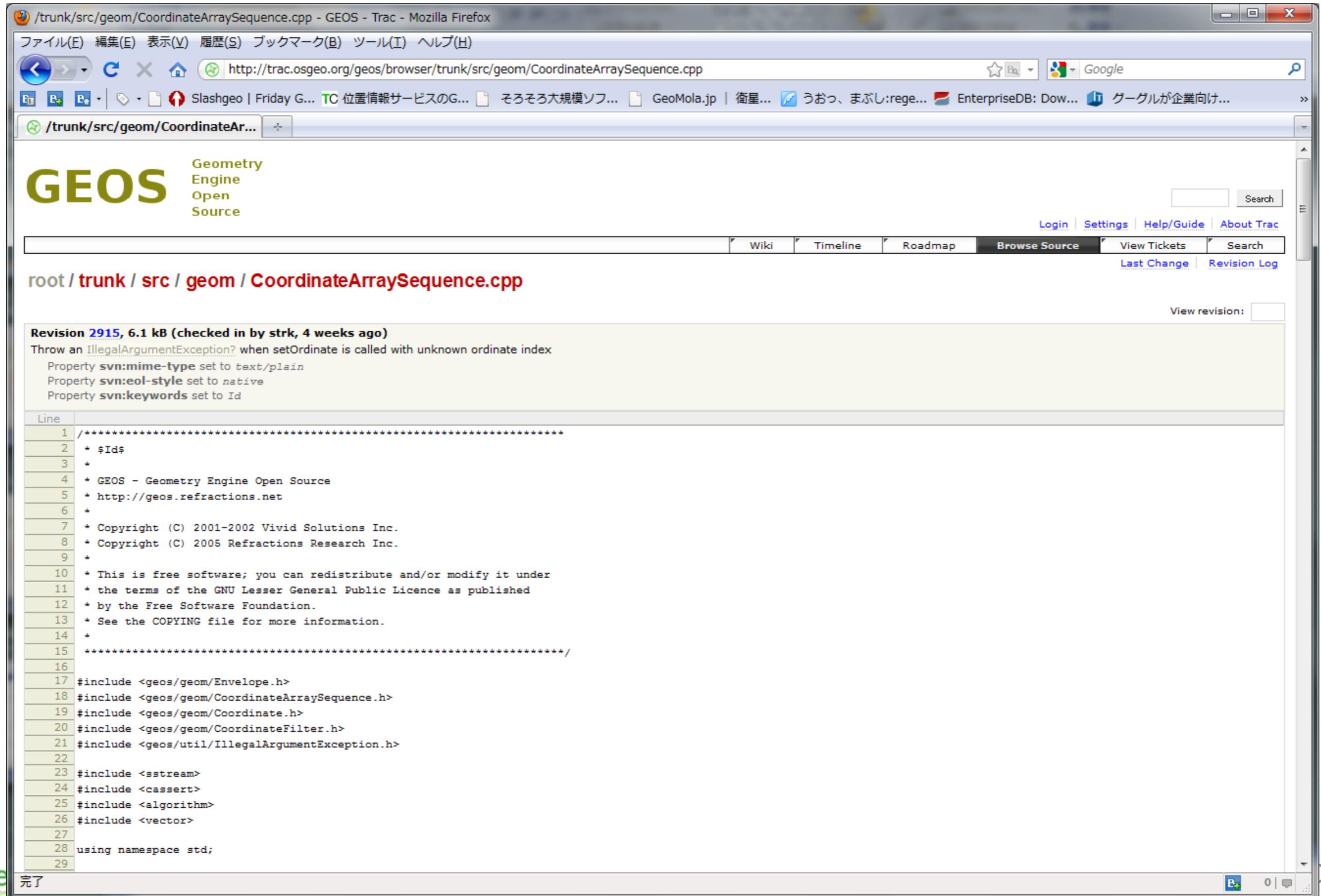
デスクトップGIS

PC上で空間データを扱うためのソフトウェア



地理空間処理ライブラリ

空間情報系プログラム作成用の部品



The screenshot shows a Mozilla Firefox browser window displaying the source code for the file `CoordinateArraySequence.cpp` in the GEOS repository. The browser's address bar shows the URL `http://trac.osgeo.org/geos/browser/trunk/src/geom/CoordinateArraySequence.cpp`. The page header includes the GEOS logo and the text "Geometry Engine Open Source". Navigation links for "Wiki", "Timeline", "Roadmap", "Browse Source", "View Tickets", and "Search" are visible. The main content area shows the source code for revision 2915, which is 6.1 kB and was checked in by `strk` 4 weeks ago. The code includes a comment about throwing an `IllegalArgumentException` when `setOrdinate` is called with an unknown ordinate index. The code also includes several headers and uses the `std` namespace.

```
Line
1  /*****
2  * $Id$
3  *
4  * GEOS - Geometry Engine Open Source
5  * http://geos.refractorions.net
6  *
7  * Copyright (C) 2001-2002 Vivid Solutions Inc.
8  * Copyright (C) 2005 Refractorions Research Inc.
9  *
10 * This is free software; you can redistribute and/or modify it under
11 * the terms of the GNU Lesser General Public Licence as published
12 * by the Free Software Foundation.
13 * See the COPYING file for more information.
14 *
15 *****/
16
17 #include <geos/geom/Envelope.h>
18 #include <geos/geom/CoordinateArraySequence.h>
19 #include <geos/geom/Coordinate.h>
20 #include <geos/geom/CoordinateFilter.h>
21 #include <geos/util/IllegalArgumentException.h>
22
23 #include <sstream>
24 #include <cassert>
25 #include <algorithm>
26 #include <vector>
27
28 using namespace std;
29
```

メタデータカタログ

空間データを検索する仕組み

The screenshot shows the GeoNetwork website interface in a Mozilla Firefox browser. The page title is "GeoNetwork- The portal to spatial data and information". The URL is "http://www.fao.org/geonetwork/srv/en/main.home". The page features a search bar with the text "What?" and "Where?". Below the search bar is a world map with a yellow highlighted area. The search results are displayed in a list format, showing "Aggregate Results matching search criteria : 1-10/137 (page 1/14), Sort by Relevance". The results include:

- MAHE ISLAND DISTRICTS 2002**: Abstract: This is a vector layer of Mahe island districts. This GIS layer was created by the National Seychelles Bureau (NSB). The layer has been re-edited by the Centre for GIS. Keywords: district, boundaries, Mahe, Inner Islands, Seychelles.
- SUB-NATIONAL ADMINISTRATIVE UNITS OF EAST TIMOR.**: Abstract: First level sub-national boundaries for East Timor. Data downloaded from UNEP-GRID, FAO coding system added. Keywords: Sub-national Administrative Units, Boundaries, East Timor.
- SUB-NATIONAL ADMINISTRATIVE UNITS OF INDONESIA.**: Abstract: First and second level sub-national boundaries for Indonesia. Data downloaded from UNEP-GRID, updated by FAO-GIEWS and FAO coding system added. Keywords: Indonesia.
- SUB-NATIONAL ADMINISTRATIVE UNITS OF EAST TIMOR.**: Abstract: First, second and third level sub-national administrative units of East Timor from the Suco Sub-National Boundaries Database. The international boundary was derived from the 1:25000 topogra...

The page also includes a sidebar with "SEARCH FAO CATALOGUE BY TOPIC" and a "RECENT CHANGES" section. The browser's address bar and tabs are visible at the top.

OSGeo (Open Source Geospatial) 財団って？

FOSS4Gの世界的コミュニティ

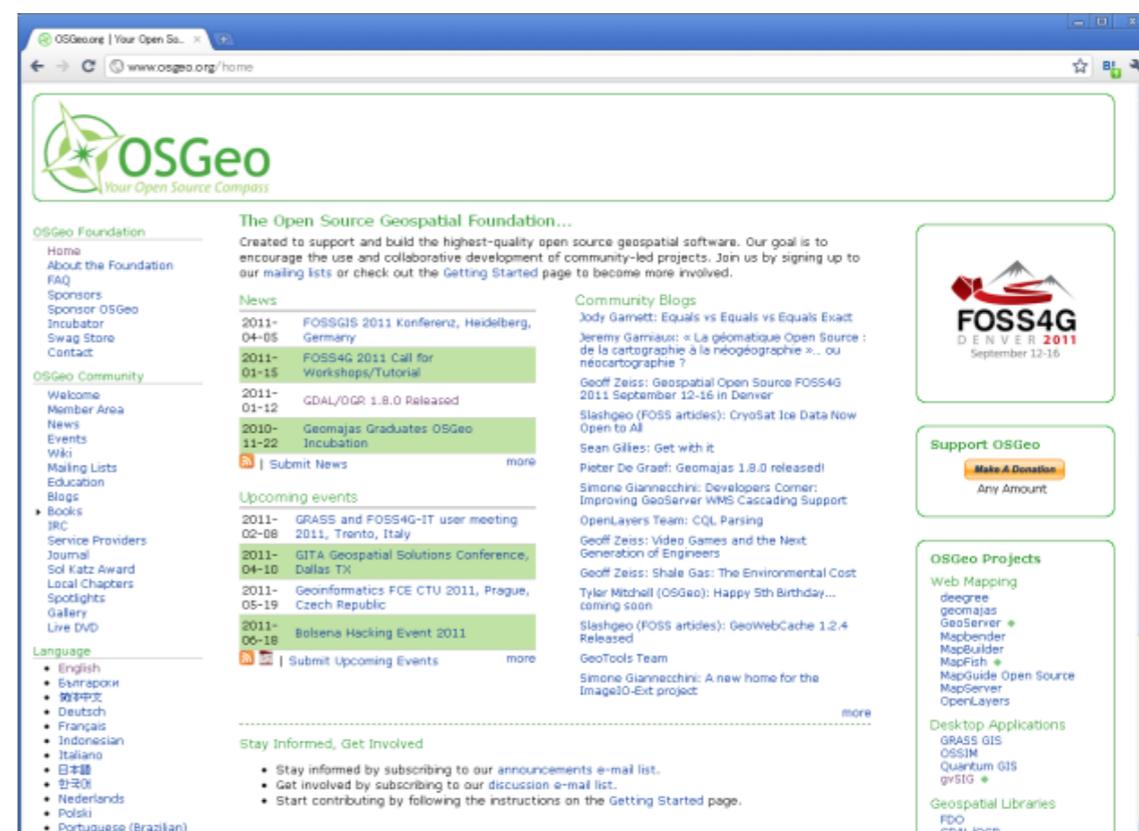
- 各種FOSS4Gコミュニティが集まる国際コミュニティ

- 2006年創立 日本支部も2006年

- 毎年秋にカンファレンス開催

今年は9月にデンバーで開催

- <http://www.osgeo.org/>



OSGeo財団日本支部

- FOSS4Gの利用促進活動
- 毎年、東京と大阪でカンファレンス開催 (KOFと共同開催)
- FOSS4G関連ワークショップ
- 2010年 IPA OSS奨励賞



- OSGeoJP Headline -

しまねOSS協議会第57回オープンソースサロンの報告,1月21日

イベント

- オープンソースカンファレンス
2011 Kansai@Kobe

OSGeoに参加しよう (ジオ活)

[メーリングリスト](#)

[OSGeo.JPの会員になる](#)



終了したイベント

- FOSS4G 2010 Osaka
- FOSS4G 2010 Osaka
タイムテーブル
- FOSS4G 2010 Osakaハンズオン
- FOSS4G 2010 Tokyo
- FOSS4G 2010 Tokyo
タイムテーブル
- FOSS4G 2010 Tokyoハンズオン

OSGeo.JPへようこそ

OSGeo.JPとは **OSGeo財団** (The Open Source Geospatial Foundation) は、高品質の立されました。この財団の目的は、コミュニティが先導して、オープンソースプロジェクトの公式の支部が「OSGeo財団日本支部 (OSGeo.JP)」です。

東北地方太平洋沖地震への支援と対応

このたびの震災に関し、被災された皆様にお見舞い申し上げます。現在、OSGeo財団日本支部のメンバーは、被災支援・復興支援をボランティアとして積極的に関与しています。現在までの東北震災対応の中で、OSGeo財団は、FOSS4Gツールの利用普及と併せて、地強く認識いたしました。今後も復興の支援を行うと同時に、この環境整備に、コミュニティの協力をお願いいたします。

2011年3月19日 OSGeo財団日本支部代表者 森亮
Venkatesh Raghavan,井上修,林博文,古橋大地,嘉山陽一,吉田大介,岩崎亘典,若狭正生,勝部圭一,瀬戸寿一,清野陽一,山手規裕,邑桑泰彰,野田和徳,今木洋大

Tyler Mitchell, Geoff Zeiss, Jeff McKenna, Arnulf Christl, Claude Philipona, Chris Holmes, Paul Ramsey, Schuyler Erle, Christopher Schmidt, Helena Mitasova, Markus Neteler, Lorenzo Becchi, Sarawut Ninsawat, Gérald FENOY, Nicolas BOZON, Daniel Kastl, Mirko Reguzzoni, Eugenio Realini, Luiz Motta, Sittichai Choosumrong, Kumiko Izawa, Hiroo Imaki, Jamie Kass, Eiko Toguchi, Shiori Betzler, Masanori Hanada, Chiaki Sakuma, Daisuke Sasatani



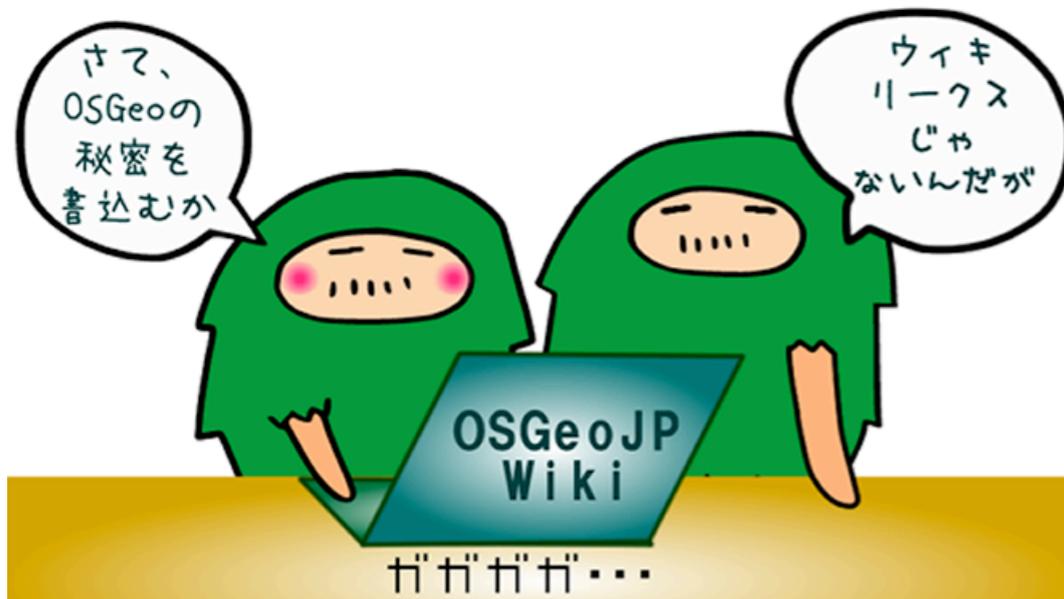
<http://www.osgeo.jp>



OSGeo財団日本支部のメンバー

団体会員

株式会社オークニー
大阪市立大学大学院 創造都市研究科
オートデスク株式会社
応用技術株式会社
マップコンシェルジュ株式会社
株式会社野村総合研究所
株式会社パイプデザイン
北海道地図株式会社
株式会社マピオン



個人会員

64名（昨年18名）

少しだけ宣伝

6/7発売 FOSS4G ハンドブック



コミュニティの成立過程裏話

FOSS4G HAND BOOK



(写真2) 初回の FOSS4G カンファレンスは 2004 年 9 月にタイのバンコクで開催 (この時は G の意味が Geoinformatics になっています)



(写真3) "最初"の FOSS4G 懇親会 (左から私、DMSolutions の Dave、Jeff の順)

さて、当時私の会社(株式会社オークニー)は、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)の支援によって GRASS と MapServer の国際化を実現させたものの、オープンソースで地理情報システムを提供するという事業ビジョンに関しては、国内の市場はそれで会社をまかなえるようなレベルにはほど遠く、事業の継続という点でいくつかの課題に直面していました。当時 MapServer コミュニティの中核的企業であった、DM Solutions Group Inc.(カナダ)社長の Dave McIlhagga(そして当時の Jeff もそのメンバー)たちとの出会いは、そう遠くないうちに日本でも MapServer を始めとする FOSS4G ツールが政府機関等に採用される時代が来るだろうと確信させてくれました。その日が来るまでは、“食うための”仕事をしながら会社を存続させようと決意しました。

18

FOSS4G の世界へようこそ

2004 年 9 月の一連の出会い、コミュニティ同士の交流が始まって、FOSS4G というアイデンティティが生まれ、コミュニティ内だけでなく、外部への認知が高まっていく、大きなきっかけとなりました。そういう点で、ラガワン先生がおられなければ、今日のような世界的な FOSS4G の浸透は十分になく、かなり限定的なレベルにとどまただろうと思います。オークニーという会社が、現在も事業を継続し、顧客を増やし続けていられるのも、あの時大阪市立大学で、そしてバンコクでの場をオーガナイズしたラガワン先生がいらっしゃったからです。

1.5.2 OSGeo 財団の設立

2005 年の 10 月、私は所用があってオタワの DM Solutions Group を訪問しました。当時、DM Solutions は社長の Dave McIlhagga と、当時の技術責任者の Daniel Morissette (後に MapGears という会社を設立)、そして Ka-Map で知られる Paul Spenser、さらに Jeff McKenna ら、MapServer コミュニティの中で中心的に活躍しているメンバーが勢揃いしていました。今思い起こせば、この時から 2006 年末くらいまでが、DM Solutions がもっとも勢いのあった時代でした。

Dave と仕事の情報交換をしているなかで、MapServer の開発計画の話が出たのですが、その際に MapServer プロジェクトが二つになり、今の MapServer は名前が変わるという話がちらっと出てきました。「え! どうして?」、と私が聞くと、ある会社との秘密保持契約(Non Disclosure Agreement: NDA)があるので具体的には言えないが、商用ベンダーが Web 製品をオープンソースコミュニティに提供したいと考えていて、それを MapServer コミュニティが支援する計画が進んでいるとのこと。もちろん MapServer プロジェクトの創始者のミネソタ大学の Steve Lime もそれに賛同しているという話でした。私には、そのある会社が CAD ソフトウェアで知られるアメリカの Autodesk 社だと、うすうす察しがつきました。なぜなら、オタワには Autodesk の技術部門があり、数ヶ月



(写真4) 社長の Dave (オフィスの前で)

19

実はこの部分の元原稿は

ブログで読むことができます

FOSS4Gコミュニティはいかにして創成されたか その2 [1 user](#)

2010-03-07 23:03:54 | OSGeo/FOSS4G

2005年の10月、私は所用があってオタワのDM Solutions Groupを訪れた。当時、DM Solutionsは社長のDave McIlhaggaと、当時の技術責任者のDaniel Morissette(後にMapGearsという会社を設立)、そしてKa-Mapで知られるPaul Spenser、さらにJeff McKennaら、MapServerコミュニティの中で中心的に活躍しているメンバーが勢揃いしていた。今思い起こせば、この時から2006年末位までが、DM Solutionsがもっとも勢いのあった時代だった。



社長のDave(オフィスの前で)

Daveと仕事の情報交換をしている中で、MapServerの開発計画の話が出たのだが、その際にMapServerプロジェクトが二つになり、今のMapServerは名前が変わるという話がちらっと出てきた。え！？どうして、と聞くと、ある会社とのNDAがあるので具体的には言えないが、商用ベンダーがWeb製品をオープンソースコミュニティに提供したいと考えていて、それをMapServerコミュニティが支援する計画が進んでいるとのこと。もちろんミネソタ大学のSteve Limeもそれに賛同しているという話だった。私には、そのある会社がAutodesk社だと、うすうす察しがついた。なぜなら、オタワにはAutodeskの技術部門があり、数ヶ月前にミネソタ州立大学で開催されたMapServerユーザーミーティングにも、Autodeskの口ひげの紳士' Geoff Zeissがなぜか参加していたからだ。さすがに北米人はNDAには律儀なので、Daveから具体的な相手方については最後まで口にできなかった聞けなかったが、私から「おそらく相手方の会社は日本で大きな市場を占めているので、もし相手方が認めるのなら、私もその動きを促進する方向で協力したいと伝えてほしい」とDaveにお願いした。

その後日本に帰国してしばらく、DaveからOKが出たという連絡があり、ちょうど1ヶ月後にサンフランシスコに行く予定があった私は、その機会にAutodesk本社にDMSolutionsの当時のマーケティング担当者のKim Toffinと一緒にいくことになった。当初Autodesk社には北米市場しか視野になかったようなのだが、MapServerコミュニティが北米だけではなく、彼らにとって大きな市場である日本でも活発に活動していることは刺激になったようである。そして担当社長のGary Langから、11月末にフロリダのオーランドで開催されるAU(Autodesk University)という名のユーザーカンファレンスにも来てほしいと誘われた。

OSGeo.JP 森代表のブログです

blog.goo.ne.jp/jg2tkh/e/ad35858207b3e4250ad218b37064ca72

横浜スローライフ -- My slow life in Yokohama

オープンソースGIS、地理情報、その他日常生活から思ったことを気ままに記す不定期のんびり日記

FOSS4Gハンドブック 発売!

2011-06-09 12:40:30 | OSGeo/FOSS4G

FOSS4Gツールには、実に様々なものがあって、それぞれがどういう特長があって、何に適しているのかを網羅的に知ることは結構難しい。2003年からずっとFOSS4Gツールに関わっている私ですら、毎年毎年バージョンアップされ、しかも新しいプロジェクトがどんどん増えていく状況にキャッチアップするのは至難の業、というか、1人でキャッチアップはもうできない。しかも、最新の情報は常に英語でなされ、日本語に訳されることを期待していても、結局それは実現されないまま、ということも多い。

こうした状況は、FOSS4Gツールの日本国内における普及の妨げになっていることを、私は常々感じていて、何とかしたいと思っていたのだが、それが「FOSS4Gハンドブック」という、「この一冊でFOSS4Gを網羅する」本の出版によって、大きく解決されることになった。

この本は、FOSS4Gツールそれぞれの説明として簡潔にまとまっているだけでなく、FOSS4G自体の成立の歴史や、FOSS4Gツールで利用可能なデータ一覧、国内でFOSS4Gツールを使った事業を展開している企業のリストまで網羅されている。

ちなみに、この本、企画者は、あのGRASS本の訳者である植村さん。植村さんの企画趣旨にOSGeo財団日本支部が賛同し、植村さんと支部のアクティブメンバーが分担して執筆している。私も、1章「FOSS4Gの世界へようこそ」全てと、2章のうち、MapServer、PostGIS、pgRouting部分を担当した。

FOSS4Gのことを知るには最適な一冊、ぜひお買い求めいただければと思っている。(制作費用を超えた部分が、OSGeo財団日本支部の活動資金にもなるのでぜひご協力を！)

ファイルが存在しないか、アップロード中です

フォスフォーgerハンドブック

開発社

ジャンル: ウェブログ

Comments (2) | Trackback (0) | ツイートする 3 いいね!

ブログ記事をご覧になってから

blog.goo.ne.jp/jg2tkh/e/87ec23b7dd549a061c7a1b8a03eb4964

横浜スローライフ -- My slow life in Yokohama

オープンソースGIS、地理情報、その他日常生活から思ったことを気ままに記す不定期のんびり日記

FOSS4Gコミュニティはいかにして創成されたか その4

2010-03-12 22:35:47 | OSGeo/FOSS4G

OSGeo財団は、2006年2月に設立され、これにより初めてFOSS4Gコミュニティが、共通の議論の場、活動の場を得ることができるようになった。こうした活動には資金が必要であるが、Autodesk社が1万ドル相当の支援を行ったことによってその壁をクリアできた。Autodesk社は、自社製品のMapGuide Enterpriseの将来が、このオープンソース版であるMapGuide Open Sourceに依存しているという構造的利害があったから、こうした資金援助を行ったという見方が成立するが、当時私がGary Langlに感心したのは、「金を出さずから言わせてくれ」的な態度を一切見せなかったことである。そればかりか、OSGeo財団の登記に関わる弁護士費用を負担し、当初のWebサイトに使用されたCollabonetのインフラを提供し、DM Solutions Groupが開発したWebフレームワークのFusionの開発を資金的に支援し、その後のFOSS4Gカンファレンスでの主要なスポンサーになるなど、コミュニティ全体の活性化のために数々の貢献を行った。

私は、以前米系のGISベンダに勤務していたことがあり、いささか近視眼的な意志決定に翻弄される体験もあったので、Autodesk社のコミュニティに対する謙虚で一貫した態度は、正直驚いたのだった。やはり、同じNASDAQ上場企業でも、こういう会社が顧客の信頼を多く得るのだからと思う。もちろん、彼らもビジネスでこうした活動を行っているわけだし、主力はプロプラエタリ製品の販売であり、私は盲目的に賞賛しているわけではないが、ことFOSS4Gコミュニティ支援については大いに感謝している。

さて、話を日本に移そう。2006年当初、日本でのFOSS4Gコミュニティはほとんど組織化されていなかった。オークニーがオープンソースGISのセミナーを開催すると100名以上が参加し、MapServerなどのFOSS4Gツールをテーマとする個人ブログがいくつか出てきたのもこの頃であった。



Amazonでも購入可能

The screenshot shows the Amazon.co.jp product page for the book "FOSS4G HAND BOOK" by 朝日 孝種. The page includes the Amazon logo, navigation links, a search bar, and product details. The product is priced at ¥1,680 with free shipping. A note indicates that the book is temporarily out of stock and the shipping date is undetermined. The page also features a promotional banner for "がんばろう Nippon" and a section for related products.

amazon.co.jp こんにちは、嘉山陽一さん。おすすめ商品があります。本人でない場合はこちら。
マイストア | Amazonポイント | ギフトストア | ギフト券 | タイムセール

すべてのカテゴリを見る 検索 すべてのカテゴリ GO カートを見る ほしい物リスト

本 詳細検索 ジャンル一覧 新刊・予約 Amazonランキング 漫画・アニメ 雑誌 文庫・新書 専門書

フォスフォーgerハンドブック [単行本]
朝日 孝種 (著)
この商品の最初のレビューを書き込んでください。 いいね (6)

価格: ¥ 1,680 通常配送無料 詳細

一時的に在庫切れ: 入荷時期は未定です。在庫状況について
注文確定後、入荷時期が確定次第、お届け予定日をEメールでお知らせします。万が一、入荷できないことが判明した場合、やむを得ず、ご注文をキャンセルさせていただきます。商品の代金は発送時に請求いたします。
この商品は、Amazon.co.jp が販売、発送します。ギフトラッピングを利用できます。

「今こそ読みたい本」
がんばろう Nippon Amazon.co.jpがテーマごとにおすすめを紹介。隔週更新。最新のテーマは「お部屋でリラックス&エンジョイ」、「今、子どもに読ませたい世界・日本文学」。
その他の情報を見る

Click here to see in English.

数量: 1

ショッピングカートに入れる
または
1-Clickで注文する場合は、サインインをしてください。

ほしい物リストに追加する

こちらからも買えますよ
この商品をお持ちですか？
マーケットプレイスに出品する

シェアする

イメージを拡大
1個のカスタマイズイメージを見る
自分のイメージを掲載する
出版社、著者の方へ「なが見」検索で書籍を紹介しませんか？

商品プロモーションおよび特別キャンペーン

- 【みんなが選ぶ本 10%ポイント還元 夏 キャンペーンはこちら】 - 配送料も無料。毎日更新(土日祝日除く)8月31日まで!
- 【小学生向け教材】のページ 教科書ガイド、ドリル、学習まんが、図鑑など、日々の学習をサポートする本を教科別にご紹介。

この商品をチェックした人はこんな商品もチェックしています

ページ: 1 / 3

R パッケージガイドブック 岡田 Visualize This: The 予測にいかす統計モデリングの 基本 心理・教育のためのRによる Rによる計算機統計学 Maria R Graphics, Second Edition

この書籍（ブログ）の記述で



blog.goo.ne.jp/jg2tkh/m/201003

入門Webマッピングの訳者(記念イベント@オークニー)

私は、「OSGeo財団の日本支部を作る」とあちこちで話し始めていたが、一人で先走っている感がまだ漂っていて、どう進めて良いか躊躇していた。そこで、大阪市立大学のラガワン先生、升本先生、そしてオートデスク株式会社(Autodeskの日本法人)の野田さん(当時)のアドバイスと支援をいただき、少しずつ支部の設立に向けた歩みを始めた。

2006年は、FOSS4Gコミュニティにとっては、いくつかのエポックがあった。一つはOSGeo財団が主催するという意味で最初のFOSS4Gカンファレンス(スイス、ローザンヌ)が開かれたことである。この時が、世界のFOSS4Gコミュニティが一堂に会した初めての機会であった。欧州で開催されたこともあり、500名を超える多数の参加者で盛り上がった。しかし、日本からの参加者は以前からの大阪市大組とオークニー組で大半を占め、まだコミュニティ形成にはほど遠かった。もう一つのエポックは、従来からのMapServer、GRASSO、PostGISなどのツールに加えて、penLayers、GeoServer、pgRoutingなどの新しいFOSS4Gツールが紹介されるようになったことである。さらに、OpenStreetMapの活動も紹介されるなど、複数のFOSS4Gコミュニティを束ねる役割として誕生したばかりのOSGeo財団であったが、機がまさに熟していた。



FOSS4G2006でOpenLayersを紹介するChrisとSchuyler

こういう高まりを受け、日本でも支部設立のアナウンスとイベントを行おうという話が進み、12月に品川で「OSGeo財団日本支部設立記念カンファレンス」を開催した。本部で最初にAutodesk社が様々な援助をOSGeo財団に対して行ったのと同じように、日本でもオートデスク株式会社がこのカンファレンスの告知と運営に多大な協力をしてくれた。こうして、ようやく日本でもOSGeo財団の存在が知られるようになっていった。



2006年第1回のFOSS4Gカンファレンス

ここでOpenStreetMapが紹介されたようです

2006年は、FOSS4Gコミュニティにとっては、いくつかのエポックがありました。一つは OSGeo 財団が主催するという意味で最初の FOSS4G カンファレンス「FOSS4G2006」（スイス、ローザンヌ）が開かれたことです。この時が、世界の FOSS4G コミュニティが一堂に会した初めての機会でした。欧州で開催されたこともあり、500名を超える多数の参加者で盛り上がりました。しかし、日本からの参加者は以前からの大阪市大組とオークニー組で大半を占め、まだコミュニティ形成にはほど遠いのが実情でした。もう一つのエポックは、従来からの MapServer、GRASS GIS、PostGIS などのツールに加えて、OpenLayers、GeoServer、pgRouting などの新しい FOSS4G ツールが紹介されるようになったことです。さらに、OpenStreetMap の活動も紹介されました。このように、複数の FOSS4G コミュニティを束ねる役割として誕生したばかりの OSGeo 財団でありましたが、機はまさに熟していました。

2006年のFOSS4Gプログラムですが

FOSS4G2006 - Free And Open Source Software for Geoinformatics (11-15 September 2006) - Mozilla Firefox

http://2006.foss4g.org/conferenceTimeTablee080.html

	Information Systems and OpenGIS tools for geographical data exploration by Mr. Olivier BEDEL (IRISA Rennes / Université de Rennes 1) (Amphimax (MAX 415): 09:30 - 10:00)	Applications Utilizing Open Source Web Services: Two Examples by Mr. Stephen CRAWFORD (Center For Environmental Informatics, The Pennsylvania State University) (Génopode (Auditoire C): 09:30 - 10:00)	CANNATA (supsi) (Amphimax (MAX 351): 09:30 - 10:00)	(Camptocamp) (Amphimax (MAX 350): 09:30 - 10:00)	The US Army Corps of Engineers by Mr. Joel SCHLAGEL (US Army) (Amphimax / (MAX 410): 09:30 - 10:00)
10:00	Break (Amphipôle (niv. 3): 10:00 - 10:30)				
	[92] Implementing 3D Web-GIS System Using X3D Technology by Mr. Sarawut NINSAWAT (Osaka City University) (Amphimax (MAX 415): 10:30 - 11:00)	[21] Grids 1.0 beta and beyond by Mr. Andy TURNER (University of Leeds) (Génopode (Auditoire C): 10:30 - 11:00)	[135] Development of procedures for using GRASS GIS in planetary mapping by Dr. Alessandro FRIGERI (Università degli Studi di Perugia, Italy) (Amphimax (MAX 351): 10:30 - 11:00)	[147] Tsunami inundation maps and damage sceneries through the GIS GRASS by Dr. Tiziano COSSO (DIMSET-University of Genova) (Cubotron (Auditoire II): 10:30 - 11:00)	[189] Enabling Users to Produce personalized Geodata by Mr. Andrew TURNER (HighEarthOrbit) (Amphimax (MAX 350): 10:30 - 11:00)
11:00	[102] GRIFINOR: a new platform for 3D geo-visualization by Ms. Marie JAEGLY (GRIFINOR project) (Amphimax (MAX 415): 11:00 - 11:30)	[179] Putting Classic Literature on the Map with the MetaCarta GeoParser API by Mr. Schuyler ERLE (MetaCarta, Inc) (Génopode (Auditoire C): 11:00 - 11:30)	[108] Per-pixel classification confidence mapping using R and GRASS by Dr. Scott MITCHELL (Carleton University Department of Geography and Environmental Studies) (Amphimax (MAX 351): 11:00 - 11:30)	[137] A GIS-based FOSS decision support system for the management of SAR operations in mountain areas by Dr. Paolo ZATELLI (University of Trento) (Cubotron (Auditoire II): 11:00 - 11:30)	[199] OpenStreetMap project by Mr. Nick BLACK (Amphimax (MAX 350): 11:00 - 11:30)
	[83] The DebianGis Project: development and state of the art by Dr. FRANCESCO LOVERGINE (Debian Project) (Amphimax (MAX 415): 11:30 - 12:00)	[73] Integration of GDAL/OGR, libral, and GTK+ with Perl on Unix and Windows by Prof. Ari JOLMA (Helsinki University of Technology) (Génopode (Auditoire C): 11:30 - 12:00)	[142] Evolutionary Objects for Pattern Recognition in Glacials based in Grass Possibilities by Mr. José Lubín TORRES OROZCO (PhD Student - ...)	[97] Implementing the Space Syntax Techniques: a GRASS application for the analysis of spatial configurations by Prof. Jeffrey WANG (Changsha ...)	[161] It's About Time for Time by Mr. Mikel MARON (worldKit / OpenStreetMap / GeoRSS) (Amphimax / (MAX 410): 11:00 - 11:30)
				[79] Re-inventing Spatial Data Management by Raj SINGH (Open Geospatial Consortium) (Amphimax (MAX 350): 11:30 - 12:00)	[160] What's Next, GeoRSS by Mr. Mikel MARON (worldKit / OpenStreetMap / GeoRSS) (Amphimax / (MAX 410): 11:30 - 12:00)

http://2006.foss4g.org/contributionDisplay4475.html?contribId=79&sessionId=46&confId=1



OpenStreetMap

(and the new Social Phenomena of Mapping Parties)

FOSS4G, Friday 15th September, 2006

Nick Black

nick@blacksworld.net

OpenStreetMapの説明があります

FOSS4G2006 - Free And Open Source Software for Geoinformatics (11-15 September 2006) - Mozilla Firefox

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(I) ヘルプ(H)

FOSS4G2006 - Free And Open Sour... +

http://2006.foss4g.org/contributionDisplay15bf.html?contribId=199&sessionId=46&confId=1

Yahoo! Japan

- Souvenirs !
- Conference timetable
 - Session level Timetable
 - Contribution level Timetable
 - Tuesday Sept 12 2006
 - Wednesday Sept 13 2006
 - Thursday Sept 14 2006
 - Friday Sept 15 2006
 - Demo Fest
 - Poster session
 - Birds of a feather (BOF)
- Social events
- Venue
- Travel
- Accomodations
- Practicalinformations
- GPS waypoints
- Organizers
- Contacts & Committees
- FAQ

support

OpenStreetMap project

The OpenStreetMap project is a collaborative effort to provide free maps that anyone can use or edit. Over the last two years the project has grown from a one-man effort, to become an international Foundation dedicated to the provision of Free Geo-Data.. An active community of over 2,500 members regularly contribute GPS tracks, edits and code, to what is fast becoming one of the most dynamic publicly accessible geo-databases in the world.

In May 2006, a group of OSM members met on the Isle Of Wight, with the aim of mapping as many of the Island's roads and footpaths as possible in one weekend. The meeting was a huge success; an estimated 90% of the Island's roads and footpaths have now been mapped, making OSM's database the most up to date publicly available map of the County.

The first two years of OSM have undoubtedly proved the concept of open collaborative mapping. The organisation must now mature into a Foundation that has firm ethical and legal codes as well as an infrastructure that can support the activities of a rapidly expanding and diverse international membership. This paper looks at the last 2 years of OSM and explores some of the anticipated challenges that the organisation faces over the next 12 months.

Id: 199
Place: Lausanne, Switzerland
Room: Amphimax (MAX 350)
Starting date: 15-Sep-2006 11:00
Duration: 30'
Contribution type: Conference
Primary Authors: Mr. BLACK, Nick
Presenters: Mr. BLACK, Nick
Material: Slides

Included in session: Session 9 : Open Geodata and data sharing

EPFL | Powered by Indico | HELP

3.11 ものすごい地震・津波がおきました。



HOPE がんばろう日本。

3.11、その時私は、

- 東京支社と「空間情報」についてのボイスミーティングをしてました。

うわ、揺れてるコレ聴こえてる音？ TOKYO

ゴゴゴいうてますね？ OSAKA

がががが...

OSGeo.JP 応用技術株式会社

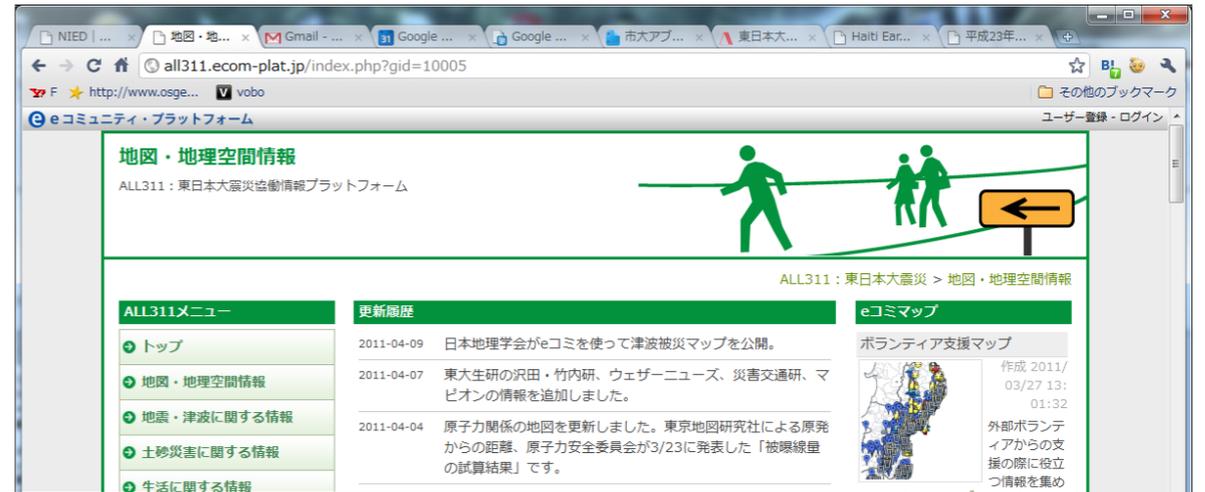
震災時の通信手段 はどうだったか？

- 電話回線は災害時にはすぐにパンク
重要度の高い緊急回線の確保のため、規制が行われる
- メールは遅延程度 *メールサービスにもよる
- ソーシャルメディアは有効
- Skypeなどのインターネット電話も有効
- ニュース速報を視聴するためワンセグ対応端末も活躍

コミュニケーション手段は ソーシャルメディアが大活躍



地震発生直後からありとあらゆる ジオデータがネットを飛び交っていた



阪神の震災の時と比べて

- ネットを使った震災支援の

ジオ系ボランティア活動がたくさんできた

- ネットにより国内・国外関係なく分業できた

- 整理されていない様々なデータ

使えるように加工するためには

FOSS4Gの様々なツールが活躍

整理されていない空間データ

衛星画像、航空写真、レーザ計測、水中探査、GPSのログ、
テキストデータのジオコーディング、プローブデータ

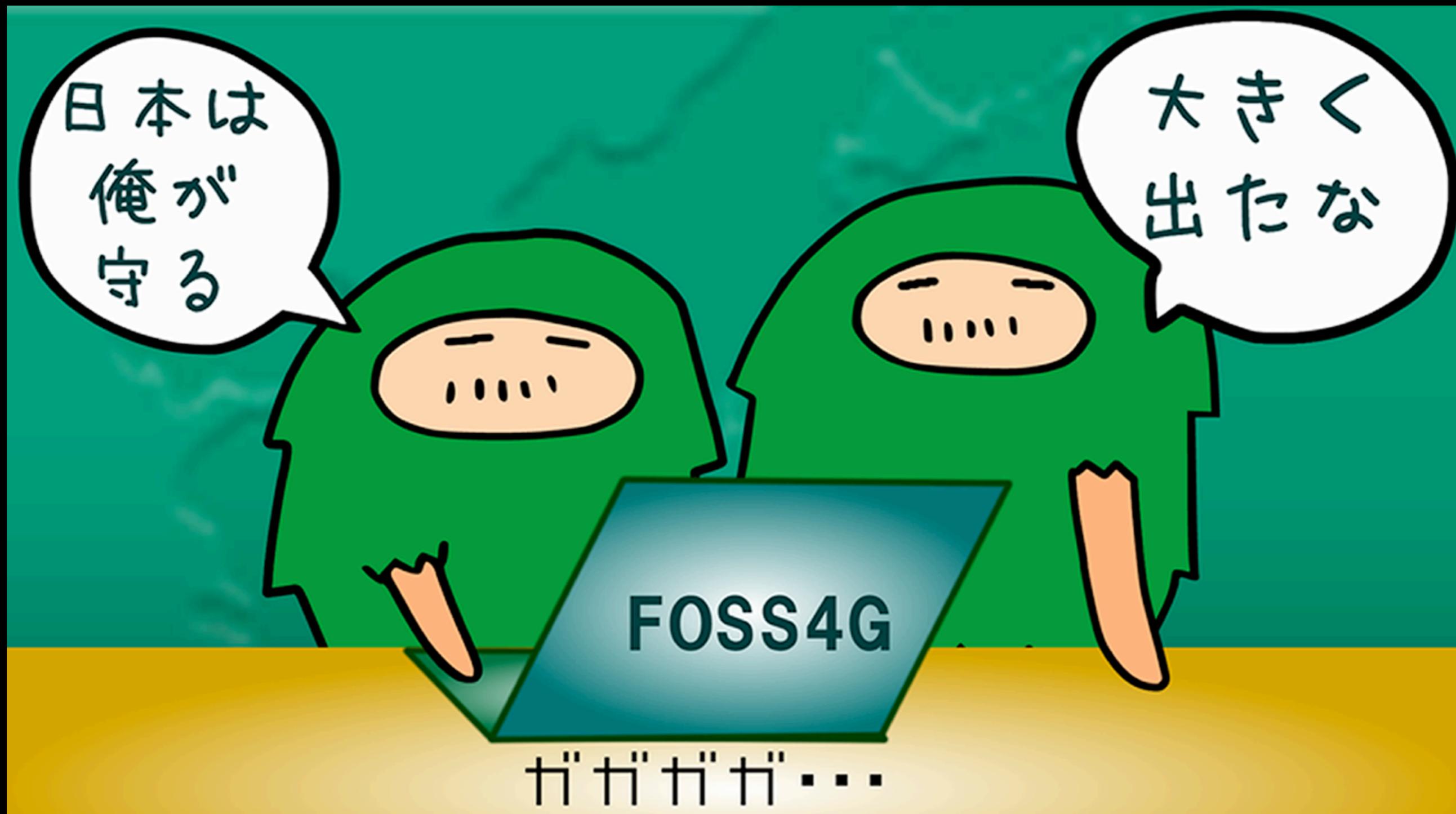
ジオリファレンスされていない画像

座標や投影も様々

そもそも基準点が動いちゃってるし

地震などの大きな災害では

- ネットを利用した地理空間情報に関する災害対策の作業がとてまたくさんあります。
- 地理空間情報に関するオープンソースソフトウェア (FOSS4G) の利用方法を知っているといろいろなことができます。



衛星画像を利用した震災支援

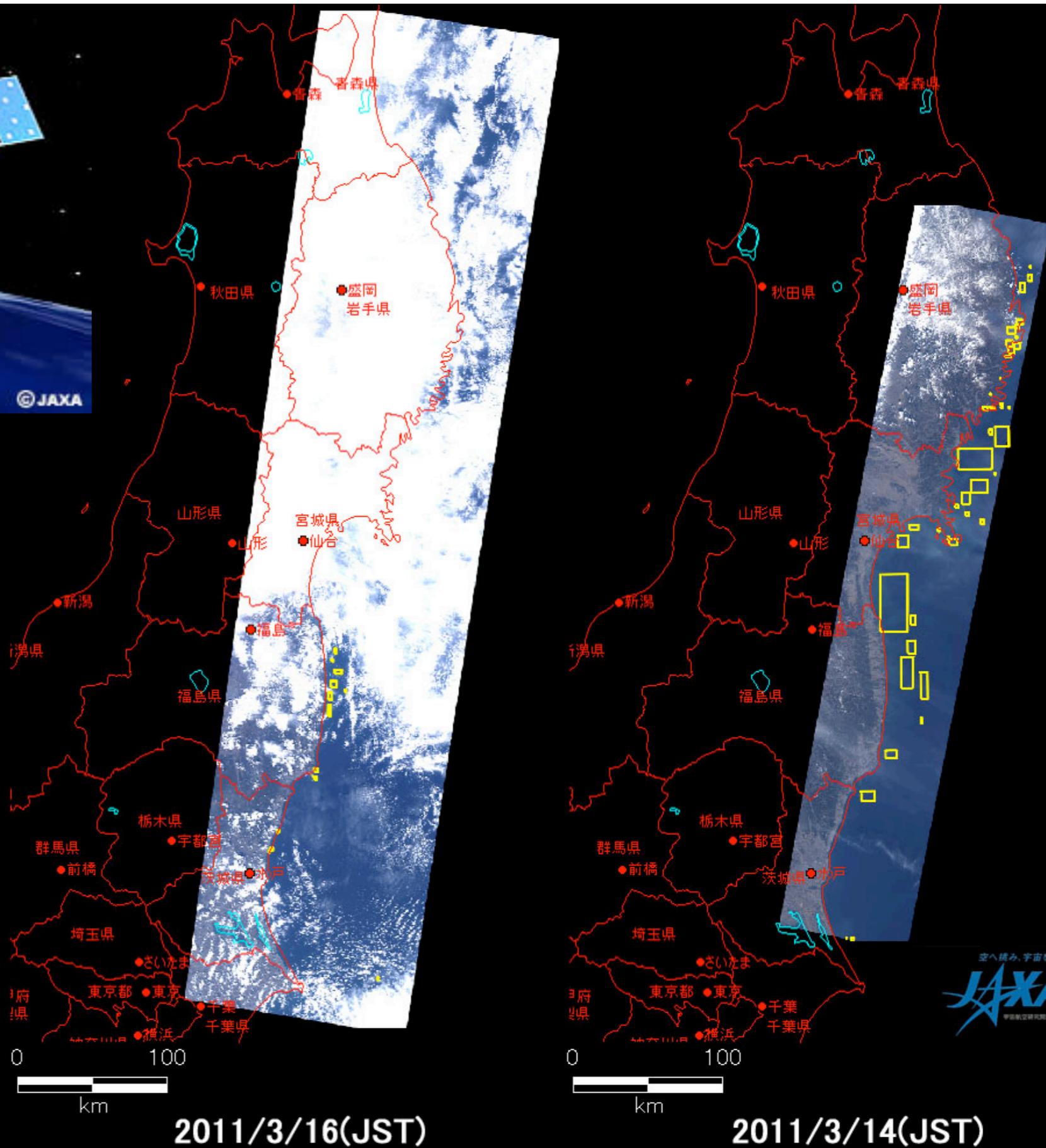
陸域観測技術衛星「だいち」(ALOS)による東日本大震災の緊急観測



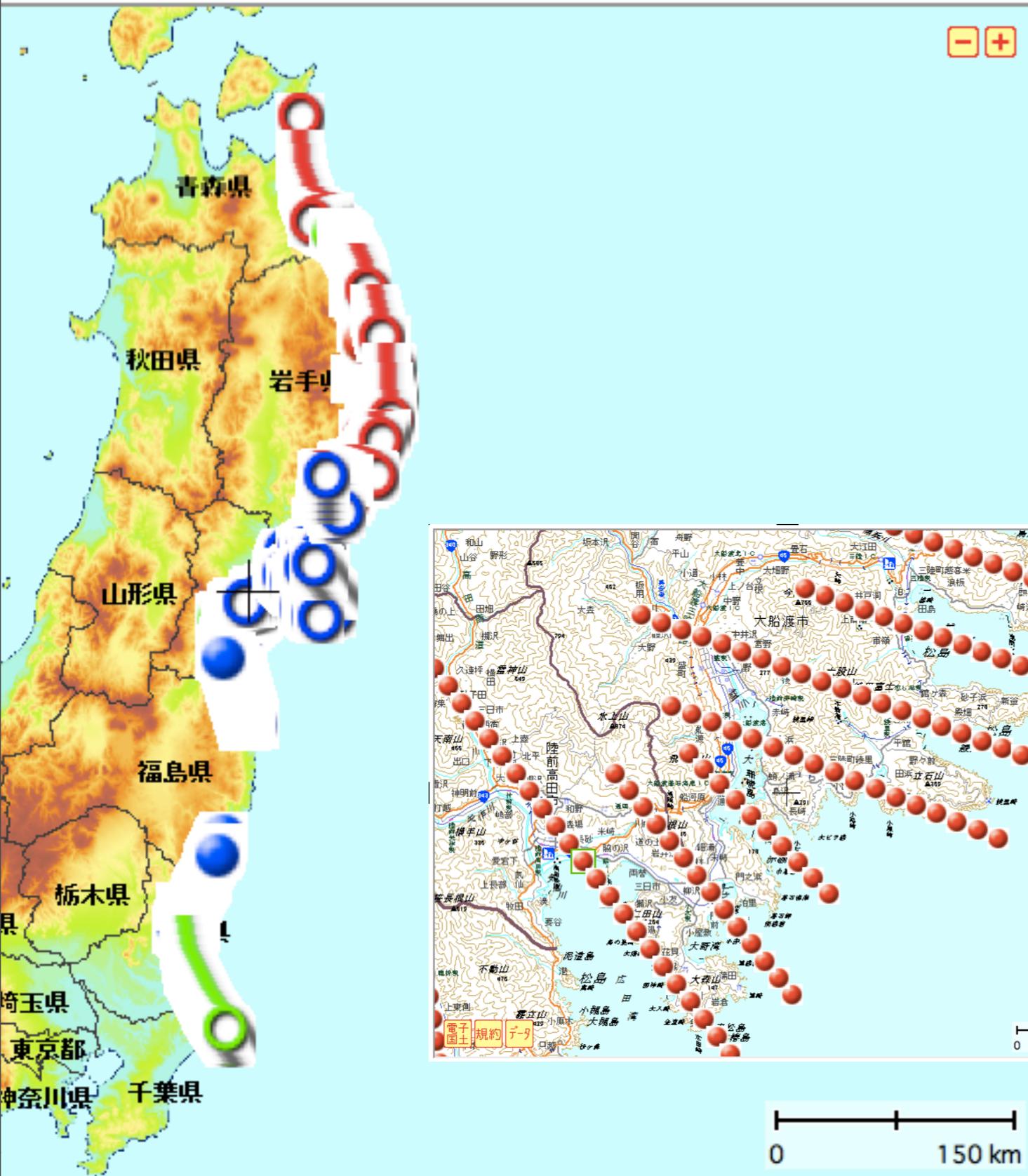
衛星だいち (解像度2.5m)

2011年3月12日、3月14日に
引き続き3月16日にも緊急観測

その後、「だいち」は
4月に電力異常が発生
5月12日に運用終了に。。
設計寿命3年を大幅に超える
5年超の大往生

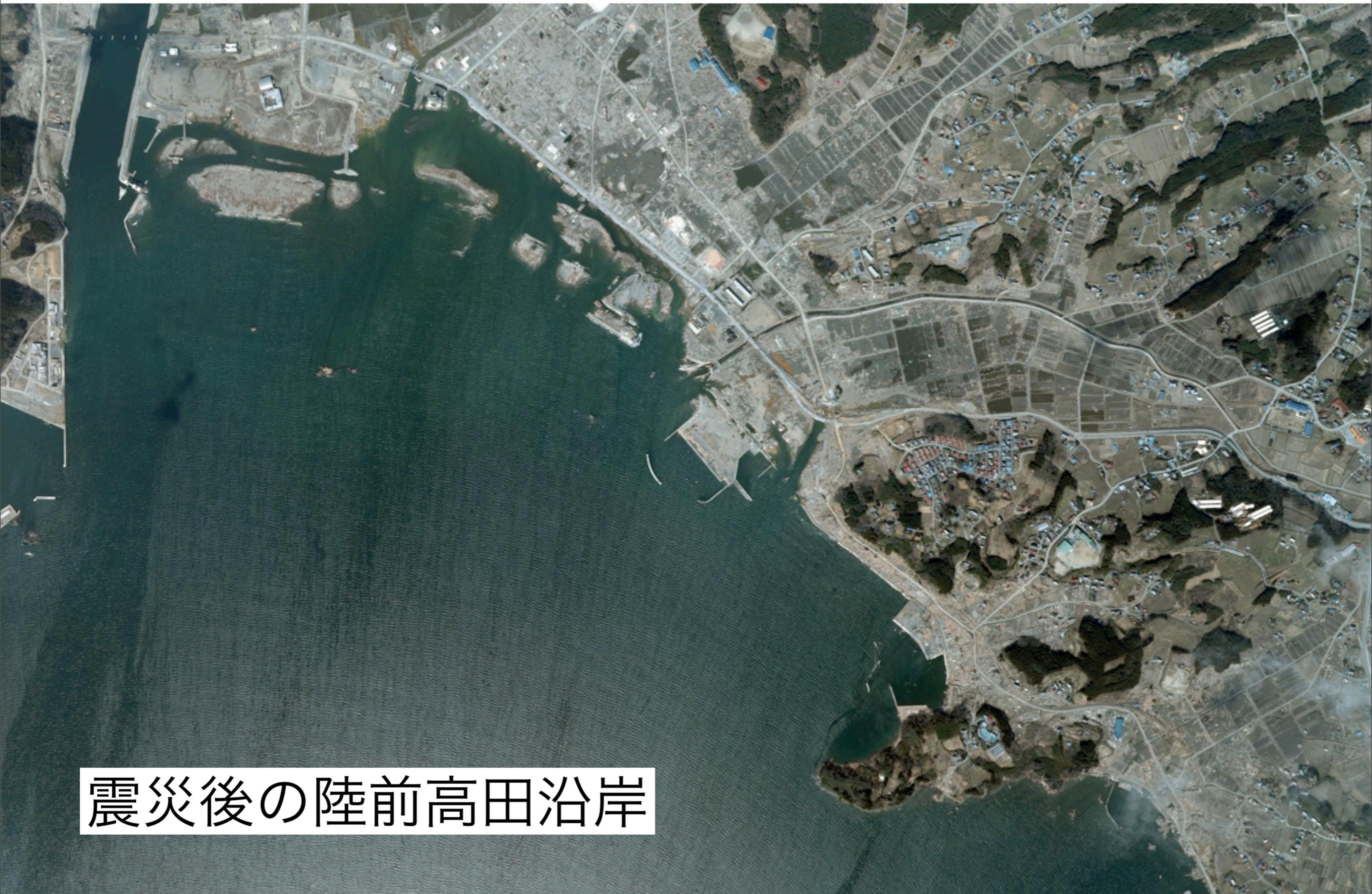


平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震による被災地の空中写真



- ☑ 青森県 三八地方沿岸 (3月13日撮影)
- ☑ 青森県 三八上北地方沿岸 (4月5日撮影)
- ☑ 岩手県 沿岸北部 (3月13日撮影)
- ☑ 岩手県 沿岸南部 (3月13日撮影)
- ☑ 岩手県～宮城県 三陸海岸 (4月1日撮影)
- ☑ 岩手県 三陸海岸 (4月5日撮影)
- ☑ 宮城県 沿岸北部 (3月13日撮影)
- ☑ 宮城県 石巻市周辺 (3月12日撮影)
- ☑ 宮城県 仙台市周辺 (3月12日撮影)
- ☑ 宮城県 仙台市周辺 (3月13日撮影)
- ☑ 宮城県 沿岸南部 (3月12日撮影)
- ☑ 宮城県 三陸海岸 (3月19日撮影)
- ☑ 福島県 沿岸北部 (3月12日撮影)
- ☑ 茨城県 沿岸北部 (3月12日撮影)
- ☑ 茨城県 沿岸南部 (3月27日撮影)

- : 3月12日撮影
- : 3月13日撮影
- : 3月19日撮影
- : 3月27日撮影
- : 4月1日撮影
- : 4月5日撮影



震災後の陸前高田沿岸

空中写真を有効活用するには、正確な位置情報を付加する幾何補正作業が必要



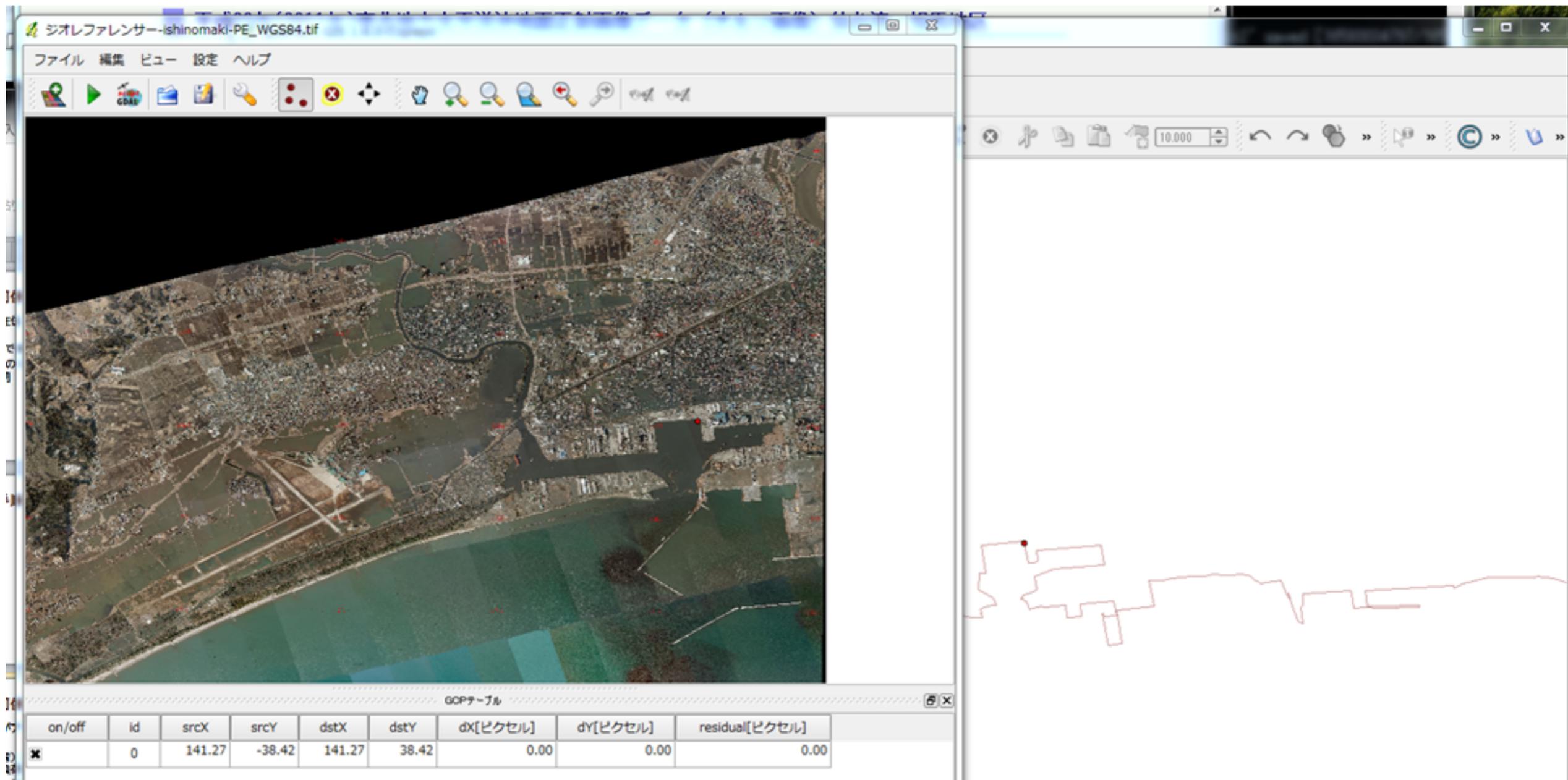
空中写真



幾何補正を行い、
他のデータを重ね合わせた写真

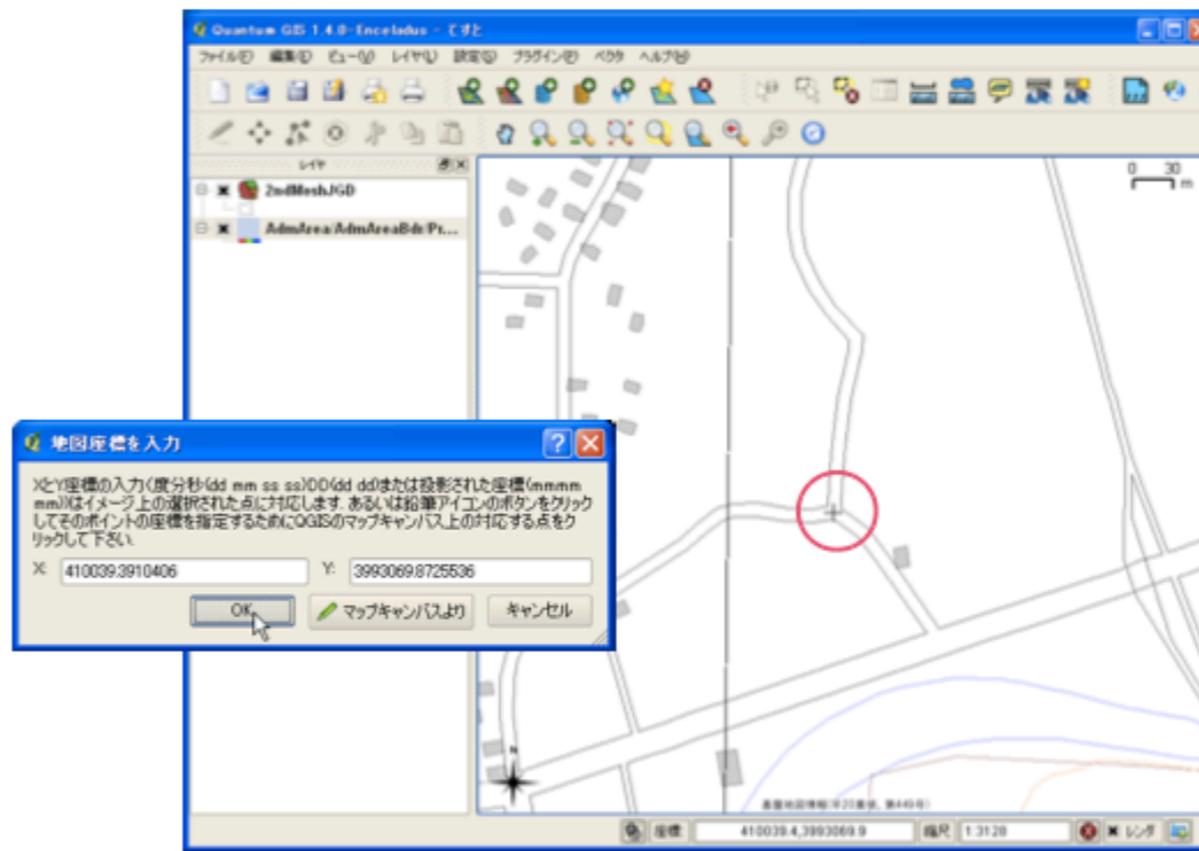
FOSS4Gを利用した幾何補正処理

QGISジオリファレンサ プラグイン

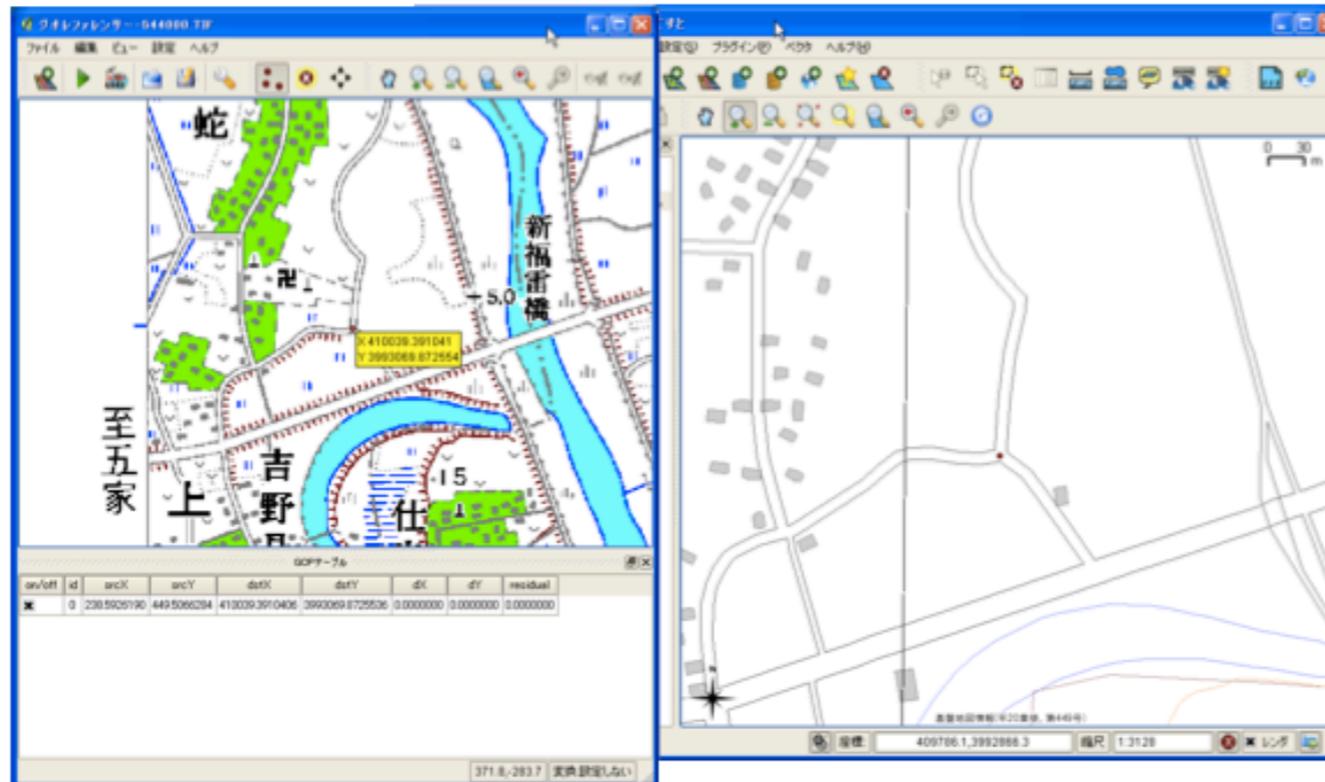


画像と地図の対応点を入力 座標値にあわせて画像を変形して
GISで利用できるようにする

FOSS4Gを利用した幾何補正処理



参照地図



補正する地図



呼びかけはメーリングリストで



[OSGeoJapan-discuss] 国土地理院撮影の空中写真の幾何補正作業について

受信トレイ | x



From **Nobusuke Iwasaki** wata909@gmail.com
To osgeojapan-discuss <osgeojapan-discuss@lists.osgeo.org>
日付 2011年3月14日11:10
件名 [OSGeoJapan-discuss] 国土地理院撮影の空中写真の幾何補正作業について
メーリングリスト osgeojapan-discuss.lists.osgeo.org [MLフィルタ設定](#)
送信元 lists.osgeo.org
登録解除 [このメーリングリストの登録を解除](#)

[詳細を隠す](#) 3月14日

[返信](#)



みなさま

岩崎です。

現在、国土地理院様から公開されている以下の震災の被災地域の空中写真について、OSMのデータ入力用の背景&被災状況把握の基礎資料として幾何補正作業を行っています。

http://saigai.gsi.go.jp/photo_h23taiheiyo-hr/photo/index.html

補正済みの画像については、WMSを利用して公開して頂く予定です。

現在までに、以下のファイルについて補正作業が完了しています。

https://spreadsheets2.google.com/cc?authkey=CIHxpKEJ&hl=ja&key=tvvrv1nGAnlUF6Uus4_zwg&hl=ja&authkey=CIHxpKEJ#gid=0

補正後の画像は、WGS84の緯度経度座標系になります。

また、補正済みの画像についてはfirestrageなどにアップロードしています。

今後、地理院様から正確に幾何補正された画像が提供される可能性もあるので二度手間になる可能性もあるのですが、出来ることから作業を進めようという事で、行っております。

もし、ご協力頂ける方がいらっしゃれば、補正作業にご協力頂けると大変ありがたいです。

補正をして頂いた場合は、先ほどのGoogleスプレッドシートに書き込んで下さい。

今のところ、C01とC04について作業をしているので、それ以外の所を作業してもらえると助かります。

ドイツ在住 @wata909

岩手・宮城・福島県



ボランティアによって
幾何補正が行われた空中写真

その後、徐々に空中写真が国土地理院
から公開された。

国土地理院

**平成23年 東北地方太平洋沖地震による
被災地の空中写真**

- ★ Nobusuke Iwasaki
- ★ Takashi AWA
- ★ 古橋 橋です
- ★ Tosiyuki ETO
- ★ Takashi AWA
- ★ 奈良 大澤様
- ★ Takashi AWA
- ★ 奈良 大澤様
- ★ Takashi AWA
- ★ Shinya suura
- ★ "Tomoya" (森 亮)
- ★ Yoihi (清野)
- ★ Nobusuke Iwasaki
- ★ Nobusuke Iwasaki
- ★ "Tomoya" (森 亮)
- ★ Shinya suura
- ★ Tosiyuki ETO (M)
- ★ OS (eki 岩)
- ★ Nobusuke Iwasaki
- ★ OS (eki 岩)
- ★ Takashi AWA
- ★ OS (eki 大)
- ★ Nobusuke Iwasaki
- ★ Yoihi (na 皆)
- ★ OS (eki 岩)
- ★ Yoihi (na 大)
- ★ OS (eki 嘉)
- ★ Tosiyuki ETO
- ★ 奈良 嘉山様、
- ★ Yoihi (na 奈)
- ★ OS (eki み)
- ★ Nobusuke Iwasaki

[OSGeoJapan-discuss] 【幾何補正PJ】 三陸海岸のオルソ画像 受信トレイ | x

★ Nobusuke Iwasaki みなさま、岩崎です。昨日、国土地理院から公開されましたオルソ画像をマージしたものをサーバー 3月19日

[OSGeoJapan-discuss] 青森～宮城オルソ画像（4月5日撮影分） 受信トレイ | x

★ Nobusuke Iwasaki To osgeojapan-dis. 詳細を表示 4月8日 返信

皆様

岩崎です。

国土地理院様が公開されているオルソ画像ですが、4/5撮影分のものを、幾何補正と結合を行ってアップロードしました。測地系はWGS84の緯度経度、ファイル形式はGeoTiffになります。

元画像

http://saigai.gsi.go.jp/h23taiheiyo-zort/block/index_sanrikukaigan0405.html

アップロード先

http://122.218.96.44/dav/GSI_ortho_sanriku_20140405/

[OSGeoJapan-discuss] 茨城県オルソ画像（3月12日、27日撮影分） 受信トレイ | x

★ Nobusuke Iwasaki To osgeojapan-dis. 詳細を表示 4月20日 返信

みなさま

岩崎です。

国土地理院様が公開されているオルソ画像の3/12、3/27撮影分の茨城県のものをアップロードしました。測地系はWGS84の緯度経度、ファイル形式はGeoTiffになります。

元画像

http://saigai.gsi.go.jp/h23taiheiyo-zort/block/index_ibarakiengan.html

アップロード先

http://122.218.96.44/dav/GSI_ortho_ibaraki_20110312/

撮影時期は、1地区、2地区が3/12（一部3/27）、3地区、4地区が3/27とのことです。また、1地区、4地区についてはサイズが大きくなりましたので、南北二つに分けてあります。

利用についてですが、インターネット等での公開に当たりましては、「国土地理院撮影の空中写真」であることを明記して下さい。また、今後利用に当たっての取り扱いが変わることもあるかもしれないので、その点にもご留意下さい。

国土地理院

平成23年 東北地方太平洋沖地震による 被災地の空中写真

青森・岩手県

作業方法の検討などは
メーリングリストで議論され、
全国から20名程度のボランティア
で作業を行った。

福島・茨城県

ボランティアによって
幾何補正が行われた空中写真

国土地理院

平成23年 東北地方太平洋沖地震による
被災地の空中写真

茨城県

千葉県

国土数値情報（行政界・海岸線）国土交通省, 国土地理院, ©2011 NTT-ME CORPORATION

関連した様々なプロジェクトが走りだす



[OSGeoJapan-discuss] 【お知らせ】 転送サーバ (仮) 立てました 受信トレイ | x

☆ hayashi@ogi To osgeojapan-dis., OpenStreetMap, [REDACTED] 詳細を表示 3月17日 返信

林です。

大変遅くなりました。

巨大ファイルが飛び交っているので、少しでも作業の助けになるかと思い
吉田さんと転送サーバ (仮) を立てました。

[OSGeoJapan-discuss] 地名英語表記のプロジェクトの現状について 受信トレイ | x

☆ Hiroo Imaki To OSGeoJapan-dis., OpenStreetMap 詳細を表示 3月22日 返信

ボランティアの皆さんのご協力により、12000を超える地名が英語表記になっています。目標は19000ちょっとなのであとひとがんばりです。進捗状況などはこちらでも確認できます。

http://www.geopacific.org/Japan_earthquake_main/dxeebu

[OSGeoJapan-discuss] アルファベット版大字、町丁目名配信WMSサーバをたてました 受信トレイ | x

☆ Yoichi Kayama To osgeojapan-dis., talk-ja 詳細を表示 3月23日 返信

皆様
かやまです

応用技術様 ご提供のサーバをお借りして アルファベット版大字、町丁目名配信WMSサーバをたてました。

元データは国土交通省国土計画局の 大字・町丁目レベル位置参照情報データです
<http://nlftp.mlit.go.jp/isj/data.html>

現状で
JOSMだと
http://122.218.96.44/cgi-bin/address_eu?SERVICE=WMS

QGISだと
http://122.218.96.44/cgi-bin/address_eu

FOSS4Gを利用した空中写真の配信サービス



① [東北・関東コンテンツ](#) ⚠️ [地図配信キャッシュ機能ダウン](#)



[Finds.jp](#) > [東北・関東コンテンツ](#) > [被災地空中写真 WMS / TMS](#)

被災地空中写真 WMS / TMS

[ひとことお願いします](#)

<http://saigai.gsi.go.jp/h23taiheiyo-hr/> をもとに、有志の方がマージ等して下さったものをもらって WMS 配信しています。当分の間公開します。

公表期間は未定です。

- [ご使用条件](#)
- [WMSサービス情報](#)
- [TMSサービス情報](#)

ご使用条件

- このサービスは、東北地方太平洋沖地震に関連する場合に限定いたします。それ以外の目的でのご使用は条件違反となります。
- 本サービスから得た画像等の複製・使用については、<http://www.gsi.go.jp/LAW/2930-index.html> をご覧ください。
- 「国土地理院提供」の出典明記は必ず表示して下さい。

FOSS4Gを利用した空中写真の配信サービス

ALL311 東日本大震災 協働情報プラットフォーム

[トップページ](#)[サイトマップ](#)

東日本大震災協働情報プラットフォーム トップページ

この大震災にみんなで協働で立ち向うために有用な情報を集約・発信します。このサイトは、(独)防災科学技術研究所と多くの協力者の方々の協働で成り立っています。ぜひご参加下さい!



ALL311: 東日本大震災

ALL311メニュー

- ➡ 地図・地理空間情報
- ➡ 地震・津波に関する情報
- ➡ 土砂災害に関する情報
- ➡ 生活に関する情報
- ➡ 要援護・福祉に関する情報
- ➡ 災害ボランティアセンター運営支援
- ➡ 防災科研現地対応
- ➡ 学協会からの情報
- ➡ 参加メンバー情報共有

ALL311 新着情報

- ➡ 日経BP「復興ニッポン」でALL311が紹介されました
6月08日 22時50分
- ➡ 311まるごとアーカイブプロジェクトが始まっています
5月18日 7時05分
- ➡ ボランティア活動を支援するマップの紹介
4月29日 10時47分
- ➡ NTT-ME、国際航業、朝日航洋より被災後航空写真の提供を受け、地図画像の配信を開始

募集中!

ボランティア 募集中

- ▶ 災害記録ボランティア 
- ▶ 災害情報ボランティア 

 **311まるごとアーカイブ**
災害の映像記録 **募集中**

衛星画像・空中写真の配信によって

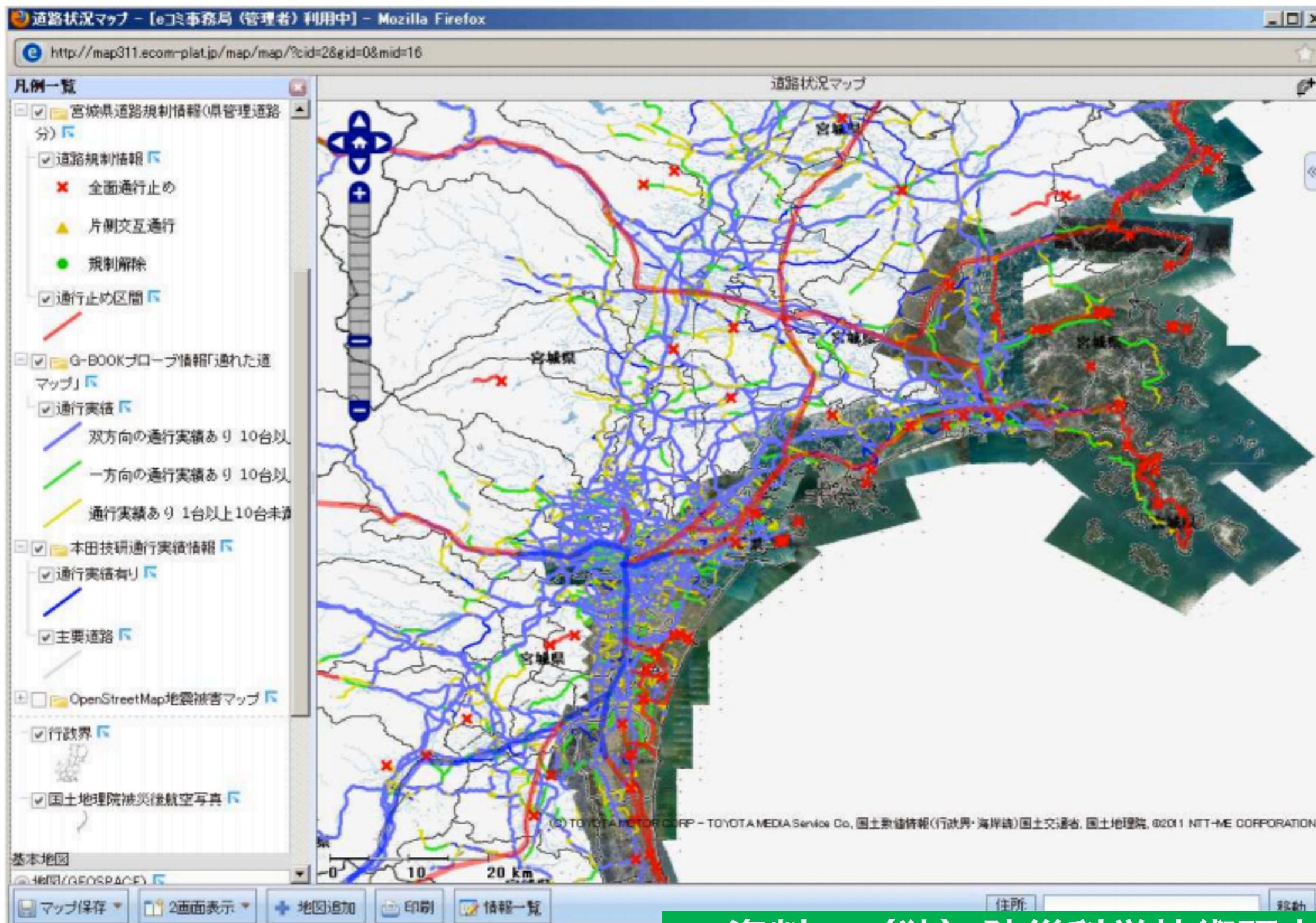
[最初](#) [前へ](#)

- 被害状況の把握
- 基盤データの作成
- 復興計画
- 罹災証明発行



本田技研、トヨタ

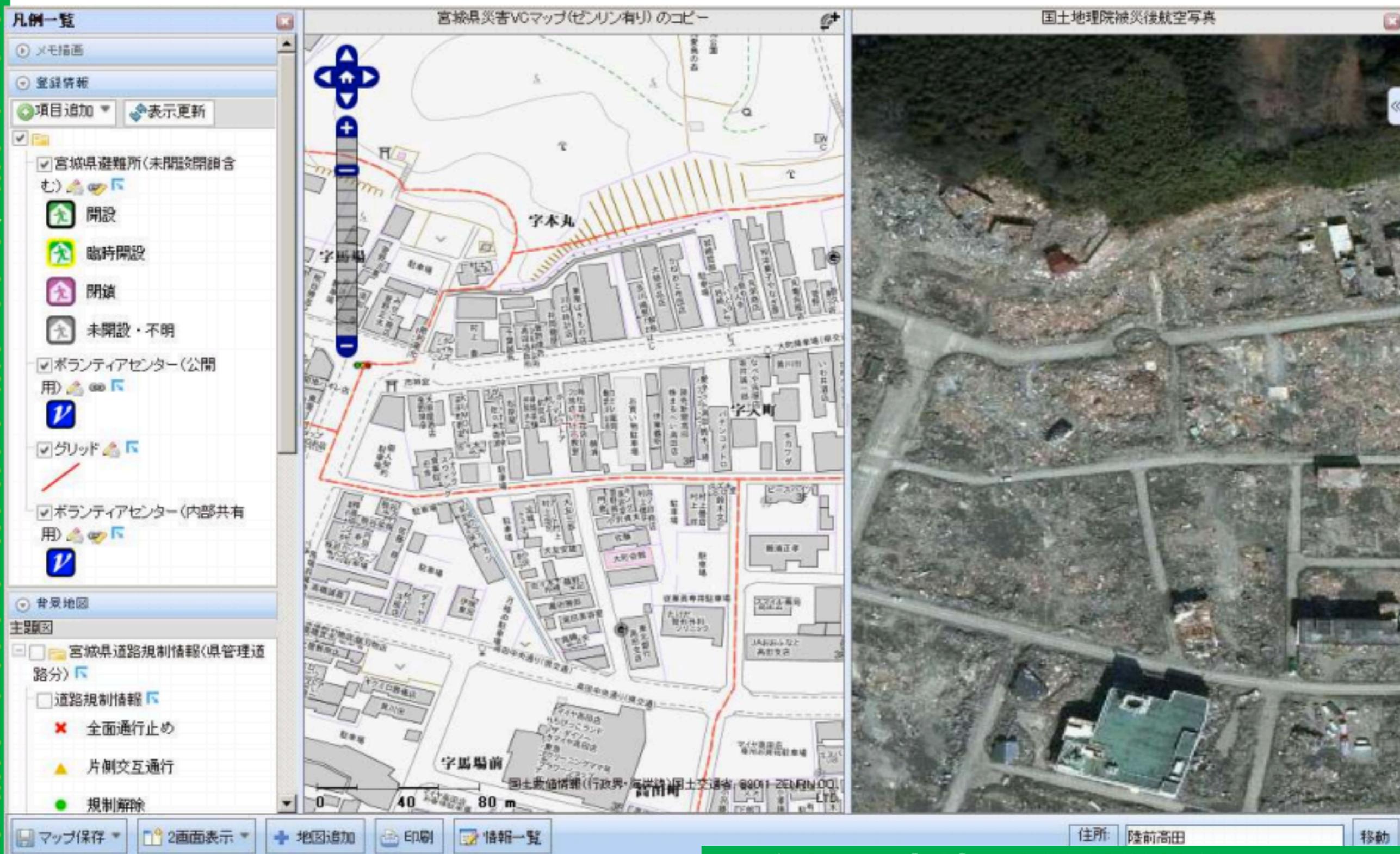
- 道路通行情報（宮城県道路情報も重ねて表示）



資料：（独）防災科学技術研究所

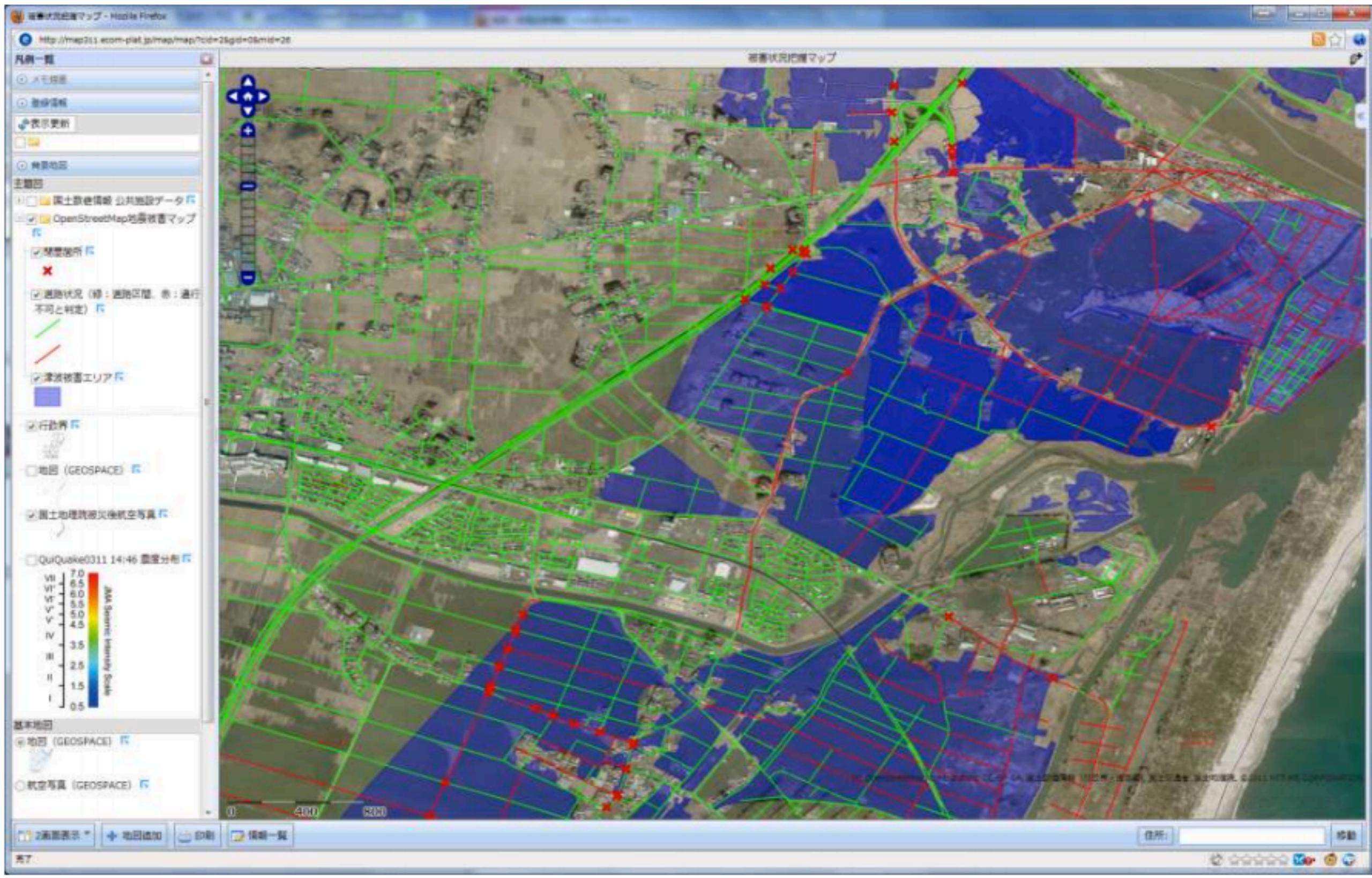
4/8 ゼンリンに住宅地図の利用開始

■ eコミマップでの表示の様子



資料：(独) 防災科学技術研究所

事例1: 地図・地理空間情報の相互運用

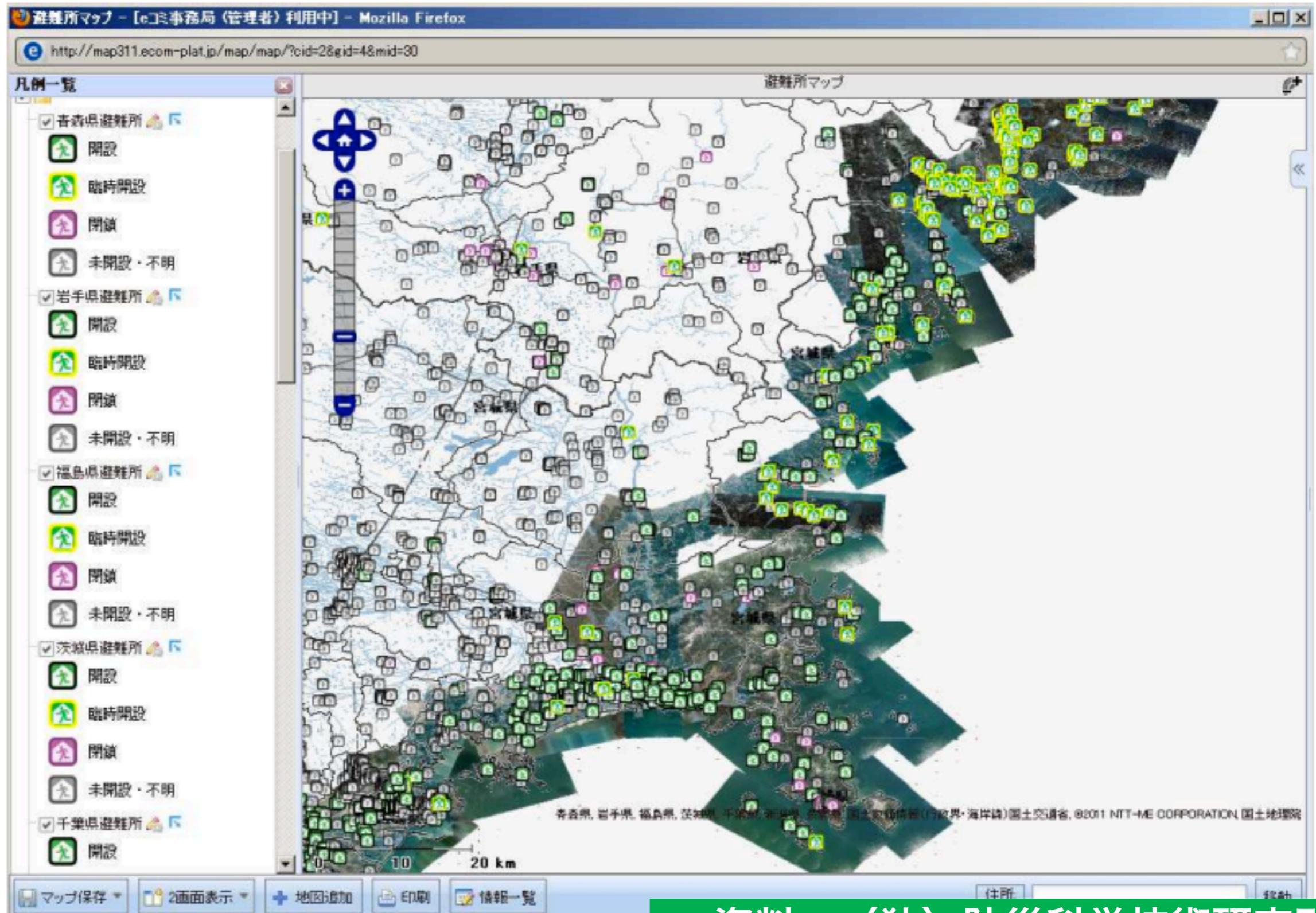


被災後空中写真(国土地理院) + 津波被害エリア(日本地理学会) + 通行可能道路(トヨタ、ホンダ等)

資料：(独) 防災科学技術研究所

避難所マップ

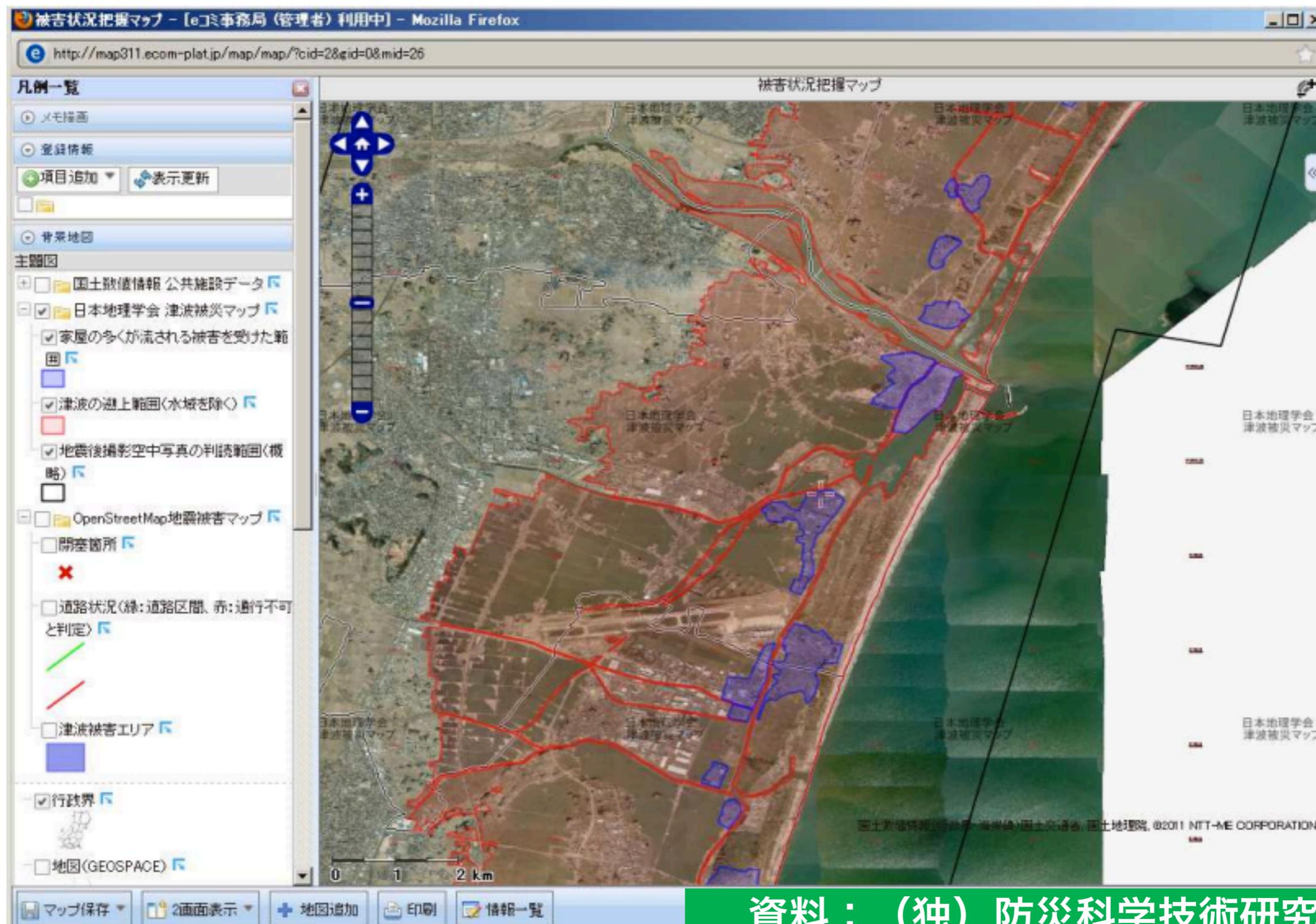
- 情報収集、更新中。



資料：(独) 防災科学技術研究所

日本地理学会「津波被災マップ」

- 防災科研がeコミマップによる配信環境を支援



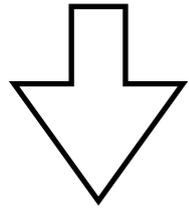
資料：（独）防災科学技術研究所

衛星画像・空中写真を利用した 震災後の地図作りによる支援

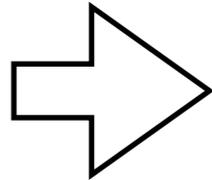
The image shows a screenshot of the OpenStreetMap web interface. The main map area displays a satellite view of a region in Japan, including Sayama Lake and Sayama Park. The map is overlaid with various colored lines and markers, indicating a route or specific points of interest. The interface includes a top navigation bar with options like '閲覧' (View), '編集' (Edit), '履歴' (History), 'エクスポート' (Export), 'GPS トレース' (GPS Trace), and 'ユーザの日記' (User Diary). A sidebar on the left contains a search bar, a 'ヘルプセンター' (Help Center) link, and a 'SOTM' (State of the Map) banner for the 5th annual international OpenStreetMap Conference. The sidebar also features several categories of icons for adding points of interest, such as 'Shopping', 'Food and Drink', 'Amenity', 'Tourism', 'Accommodation', and 'Transport'. The bottom right corner of the map area shows a 'bing' logo and copyright information for 2010 Pasco, 2010 DigitalGlobe, 2010 GeoEye, and 2011 Microsoft Corporation.

FOSS4Gを利用した空中写真配信プロジェクト

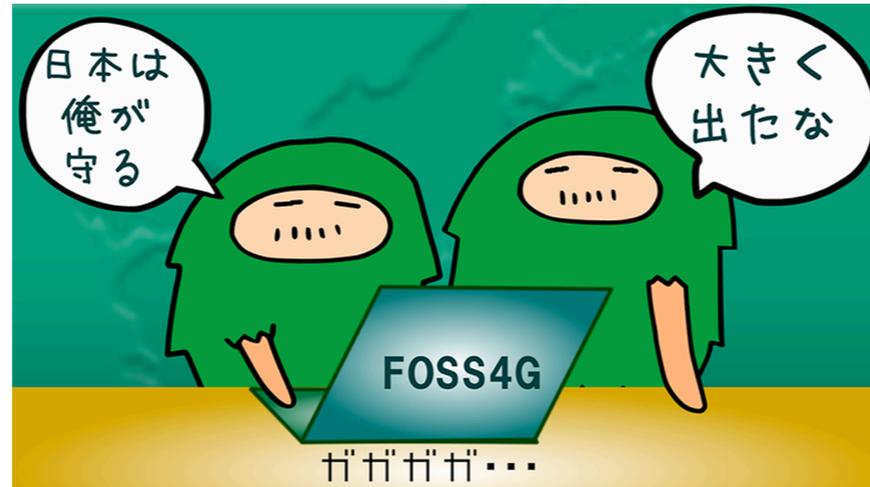
空中写真の撮影・公開



空中写真の幾何補正



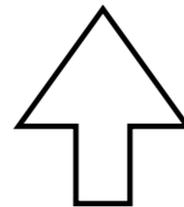
@wata909



空中写真データの配信



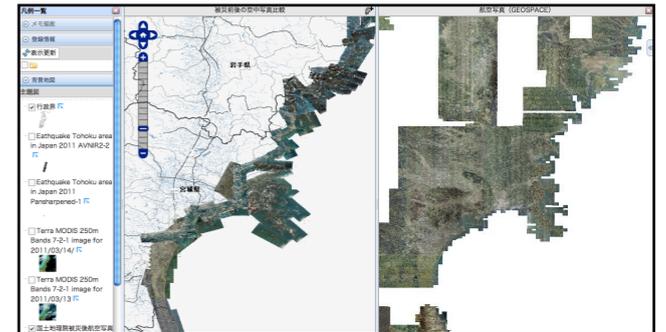
サーバー環境の支援



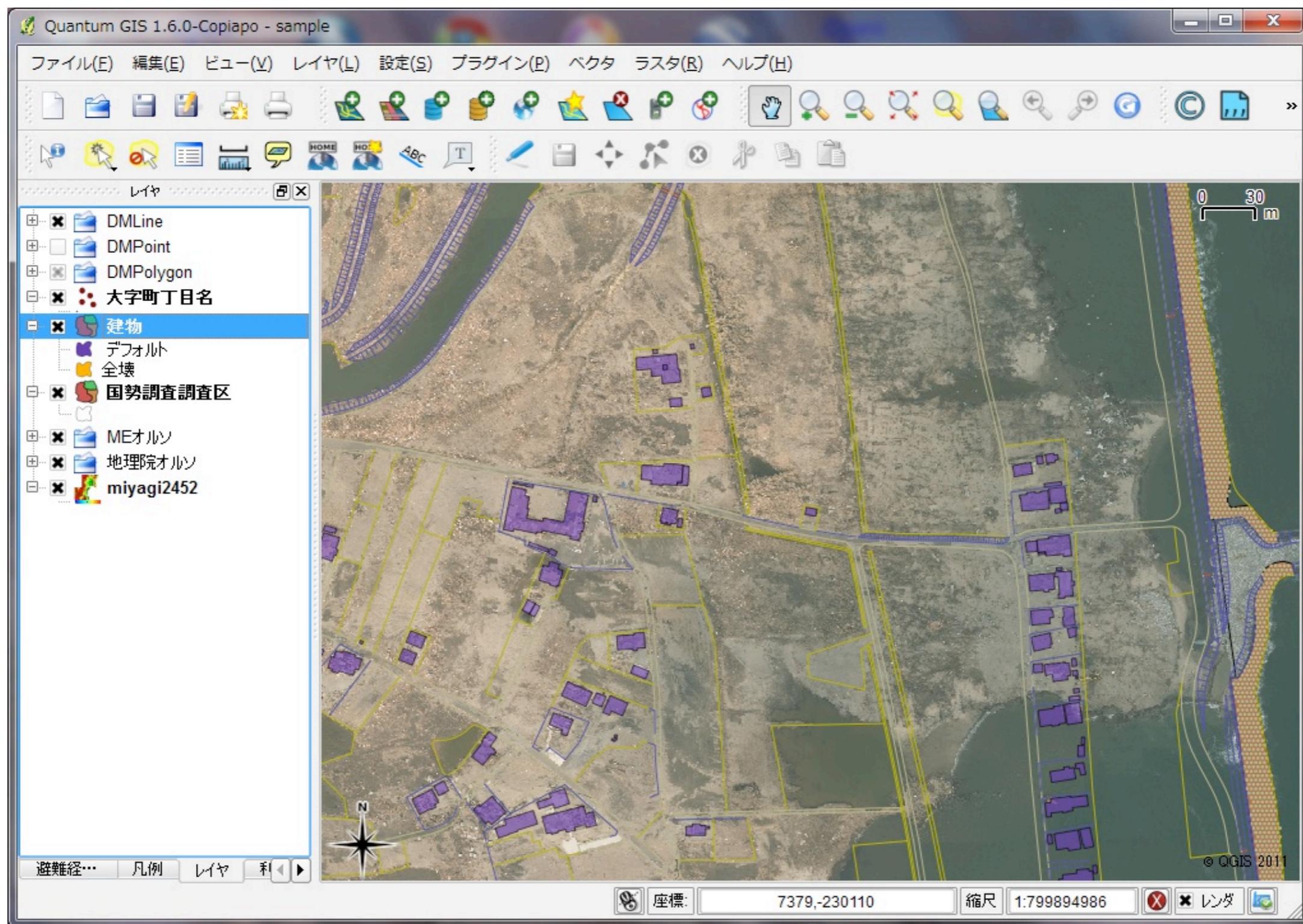
応用技術株式会社



空中写真の利用



被災自治体にFOSS4G利用提案



調査写真をGPS位置付きで整理

Quantum GIS 1.6.0-Copiapó - 宮城県平面直角10系世界測地

ファイル(E) 編集(E) ビュー(V) レイヤ(L) 設定(S) プラグイン(P) ベクタ ラスタ(R) ヘルプ(H)

イベントブラウザ - レコード表示中 01 of 01

ディスプレイ オプション 外部アプリケーションを構成する

フィールド	値
filename	2011-04-27 11.47.49.jpg
folder	20110427
cdate	27042011
lon	140.9035
lat	38.054028



Close



© QGIS 2011

531,-216007.300 縮尺 1:564771

空間情報系オープンソース

FOSS4G (Free and Open Source Software for Geospatial)

- FOSS4Gは今回のようなボランティア作業を行う場合の
最強のツール
- PCとネットワークがあれば利用のための障壁は低い
- 商用GISソフトウェアの幾つかが震災対策無償利用を表明したが、利用方法に習熟しているかどうかが問題
- 多様なFOSS4Gの用途と利用方法を習熟しておくことが必要

FOSS4G関連で困った時は

OSGeoJapan-discuss at lists.osgeo.org

OSGeo（主として日本支部）に関する幅広いテーマを対象に、意見、情報交換を行う日本語のメーリングリストで、誰もが購読でき、投稿できます。

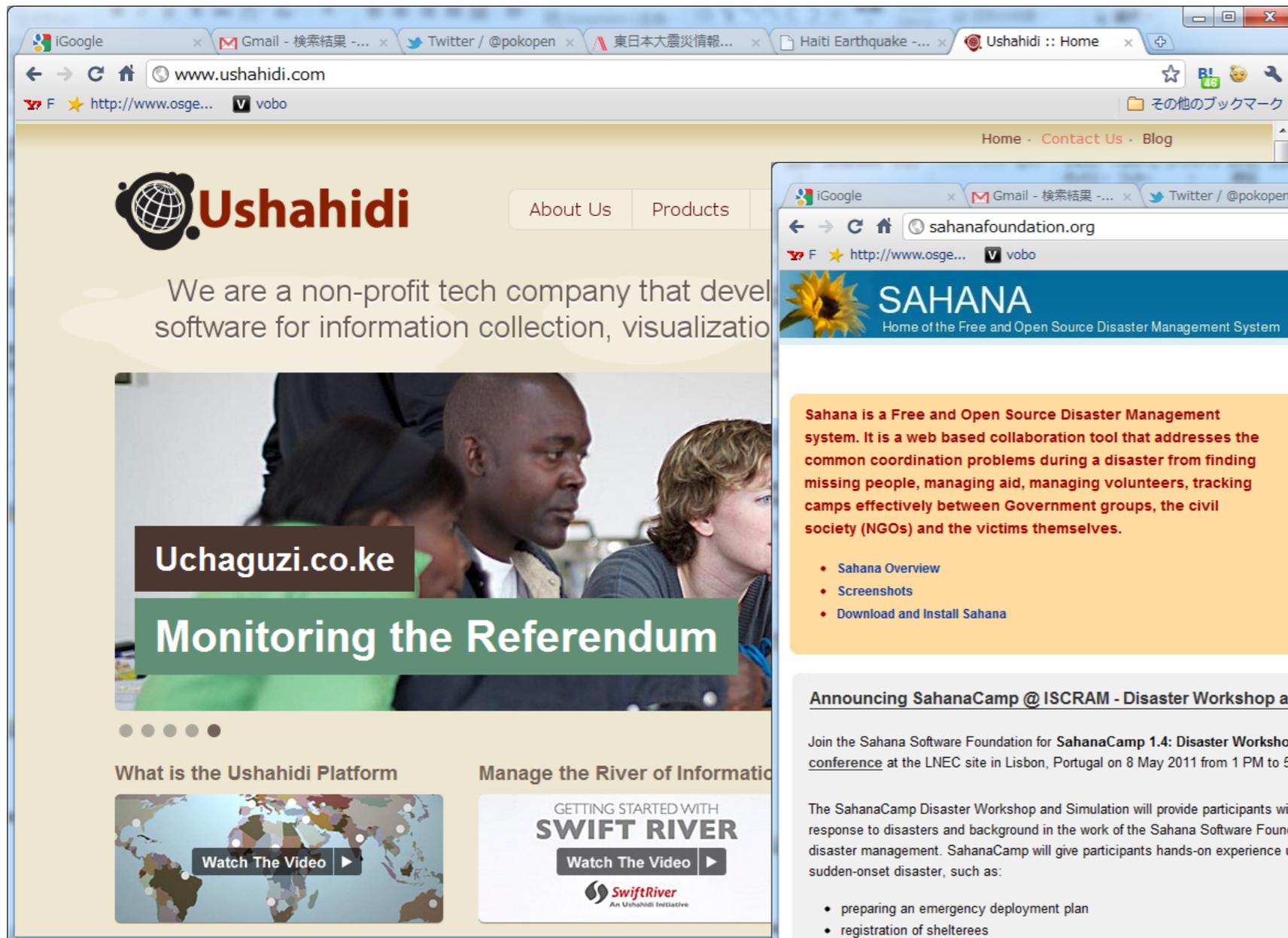
購読は以下から行えます。

<http://lists.osgeo.org/mailman/listinfo/osgeojapan-discuss>

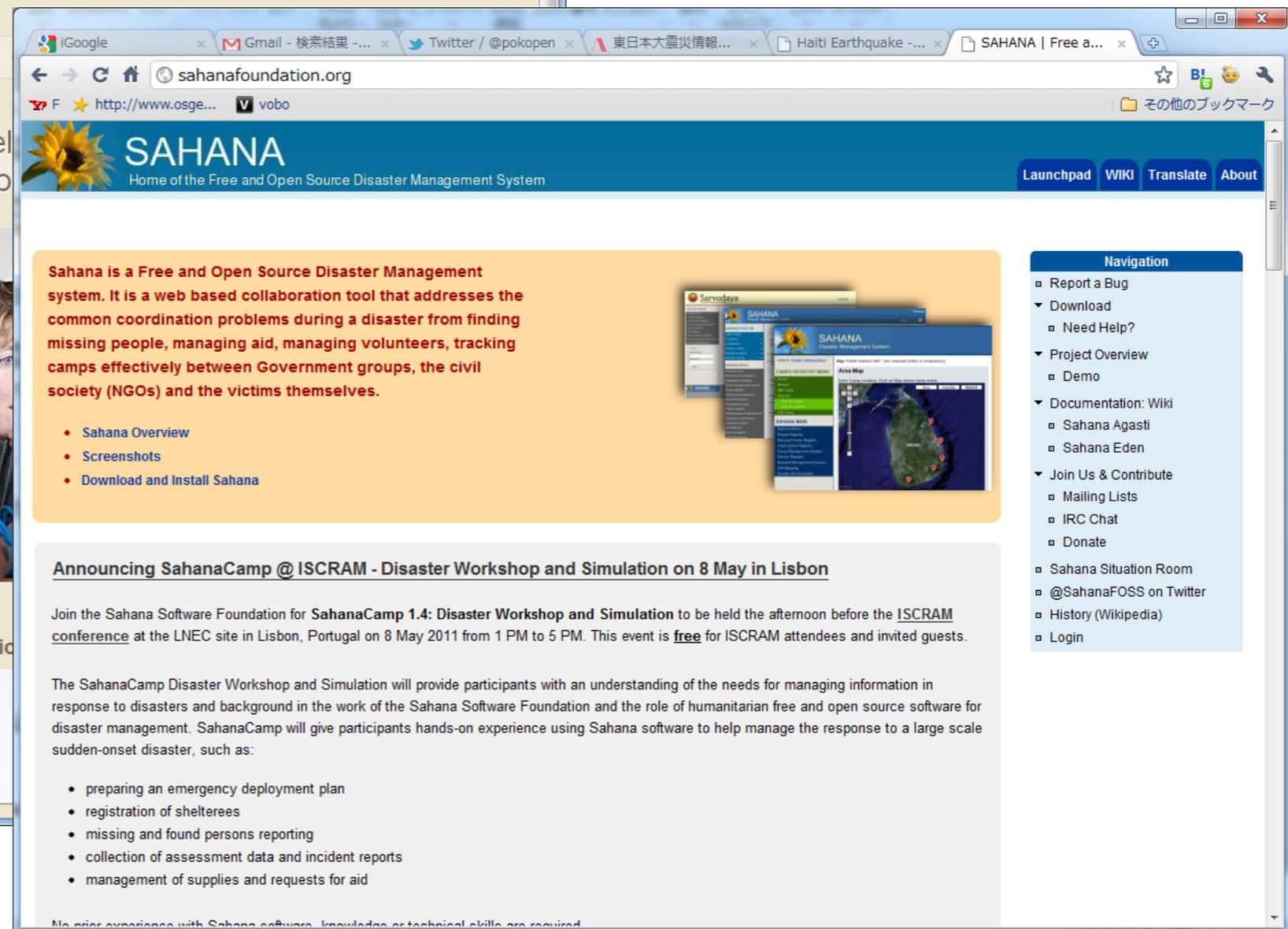
OSGeoLive DVDには

UshahidiとSAHANAという災害対策システムが入ってる

OSGeoブースで無料配布しています。(数に限りあり)



The screenshot shows the Ushahidi website homepage. The browser's address bar displays 'www.ushahidi.com'. The page features the Ushahidi logo, navigation links for 'About Us' and 'Products', and a main heading: 'We are a non-profit tech company that develops software for information collection, visualization...'. A prominent banner for 'Uchaguzi.co.ke Monitoring the Referendum' is visible. Below the banner, there are two sections: 'What is the Ushahidi Platform' with a 'Watch The Video' button, and 'Manage the River of Information' with a 'GETTING STARTED WITH SWIFT RIVER' section and another 'Watch The Video' button.



The screenshot shows the SAHANA website homepage. The browser's address bar displays 'sahanafoundation.org'. The page features the SAHANA logo and the tagline 'Home of the Free and Open Source Disaster Management System'. Navigation links include 'Launchpad', 'WIKI', 'Translate', and 'About'. A central orange box contains the text: 'Sahana is a Free and Open Source Disaster Management system. It is a web based collaboration tool that addresses the common coordination problems during a disaster from finding missing people, managing aid, managing volunteers, tracking camps effectively between Government groups, the civil society (NGOs) and the victims themselves.' Below this, there are links for 'Sahana Overview', 'Screenshots', and 'Download and Install Sahana'. A section titled 'Announcing SahanaCamp @ ISCRAM - Disaster Workshop and Simulation on 8 May in Lisbon' provides details about the event. A 'Navigation' sidebar on the right lists various links such as 'Report a Bug', 'Download', 'Need Help?', 'Project Overview', 'Demo', 'Documentation: Wiki', 'Sahana Agasti', 'Sahana Eden', 'Join Us & Contribute', 'Mailing Lists', 'IRC Chat', 'Donate', 'Sahana Situation Room', '@SahanaFOSS on Twitter', 'History (Wikipedia)', and 'Login'.

43本のデモアプリケーションとデータを試すことができます。

■ Browser Clients

OpenLayers - Browser GIS Client

Geomajas - Browser GIS Client

Mapbender - Geoportal Framework

MapFish - Web Mapping Framework

■ Crisis Management

Sahana Eden - Disaster management

Ushahidi - Mapping and Timeline for events

■ Databases

PostGIS - Spatial Database

SpatiaLite - Lightweight Database

Rasdaman - Multi-Dimensional Raster Database

pgRouting - Routing for PostGIS

■ Desktop GIS

Quantum GIS

GRASS GIS

gvSIG Desktop

User-friendly Desktop Internet GIS (uDig)

Kosmo Desktop

OpenJUMP GIS

SAGA

OSSIM - Image Processing

Geopublisher- Catalogue

AtlasStyler - Style Editor

osgEarth - 3D Terrain Rendering

MB-System - Sea Floor Mapping

■ Navigation and Maps

GpsDrive - GPS Navigation

Marble - Spinning Globe

OpenCPN - Marine GPS Chartplotter

OpenStreetMap - OpenStreetMap Tools

Prune - View, Edit and Convert GPS Tracks

Viking - GPS Data Analysis and Viewer

zyGrib - Weather Forecast Maps

■ Spatial Tools

GDAL/OGR - GeoSpatial Data Translation Tools

GMT - Cartographic Rendering

Mapnik - Cartographic Rendering

OTB - Image Processing

MapTiler - Create Map Tiles

R Spatial Task View - Statistical Programming

GeoKettle - Data Integration

■ Web Services

deegree

GeoServer

MapGuide Open Source

MapServer

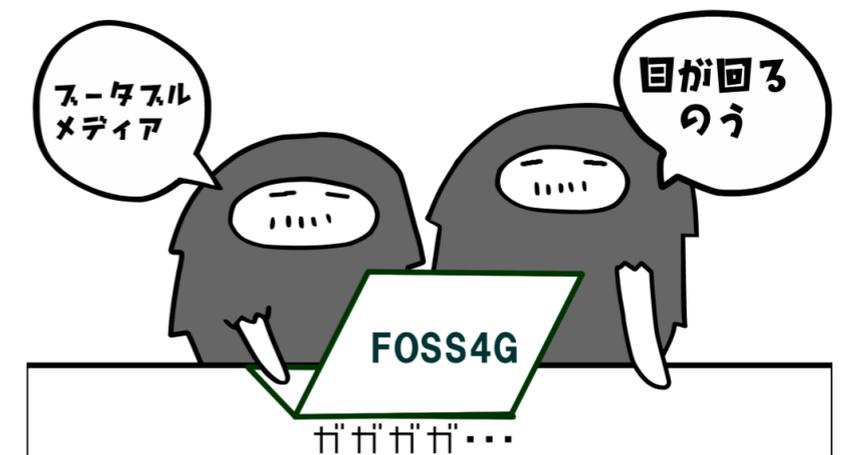
QGIS mapserver

GeoNetwork - Metadata Catalog and Catalog Services for Web

52°North WPS - Web Processing Service

52°North SOS - Sensor Observation Service

ZOO Project - Web Processing Service



「FOSS4G を活用した衛星データ利用のための オープン・リソースの構築」の成果物CDも配布しています。

GRASS/QGISの統合インストーラ

windows環境で稼働する日本語版のGRASSとQGISを一括してインストールすることができます。また、ソフトウェアの改修も一部施しておりますので、より使い勝手の良いものとなっております。当インストーラにて導入されるGRASSとQGISのバージョンは次の通りです。

- GRASS V6.4
- QGIS V1.6

中解像度衛星画像を使用した画像解析チュートリアル

以下で提供している「FOSS4Gを用いた衛星・GISデータの変換および表示チュートリアル」をベースとして、緑地抽出や土地被覆の時系列変化の可視化のような更に踏み込んだ解析方法を紹介しています。

FOSS4Gを用いた衛星・GISデータの変換および表示チュートリアル

Landsat ETM+、ALOS PRISM/AVNIR-2/PALSAR、Terra ASTER/MODIS のデータの入手方法及び取り扱い方法に関するチュートリアルです。データ解析ツールとして、FOSS4Gの中から FWTools、GRASS、QGIS を使用しており、これらツールのインストール方法や利用手順についても解説しております。

詳しくはこちら <http://www.osgeo.jp/foss4g-mext/>

最後に！！

売上がOSGeoの活動資金になります！



OSGeoへのご支援よろしく申し上げます。

m(_ _)m

ご清聴ありがとうございました。

ふう、こ
れで日本
も救われ
た

なぜに
過去形
これから
だが

た た た た ...